男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

4—919

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）
（大正七年十二月十日印刷）
（大正七年十二月十日發行）
（毎月一回十日發行）

# 廓清

第九巻第十二號

□廓清時言……伊藤江南
□獨逸潰敗の教訓……前衆議院議長　島田三郎
□家族に於ける子供の地位……早大教授　安部磯雄
□海外醜業婦に就て……廓清會理事　油谷治郎七
□公娼制度問題……新潟縣警察部長　高橋守雄
□社會政策の最要點……文學博士　三宅雄二郎
□同情と藝術及宗教……文學博士　姉崎正治
□女大學新評論（九）……一條忠衞
□戰後婦人の覺酷……女大教授　平野はま子
□婦人奮起の時代……女子高等師範教授　下田次郎
□行政警察に就て……齒科醫專學生監　水津千雲
□現代青年の心理……宮地生
□我が榮よ醒めよ……山根菊子

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必す雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉


# 産婦人科。小児科

鷲山改め

女醫 吉岡彌生

△院長診療　宅診午前　往診午後

△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應す

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

山室軍平氏著

**社會廓清論**

特價七十錢　郵税八錢

グレゴリー著（邦譯）

**歐洲諸國醜業公認制度廢止運動**

特價税共十錢

伊藤秀吉氏著

**娼妓自由廢業案内**

特價税共十二錢

# 酒きらいになる薬

## 禁酒丸

一週分　一圓

二週分　一圓九十錢

三週分　二圓八十錢

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。

郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論 進呈

禁煙液

## 煙草きらいになる薬

金五十錢　金壹圓　金一圓五十錢

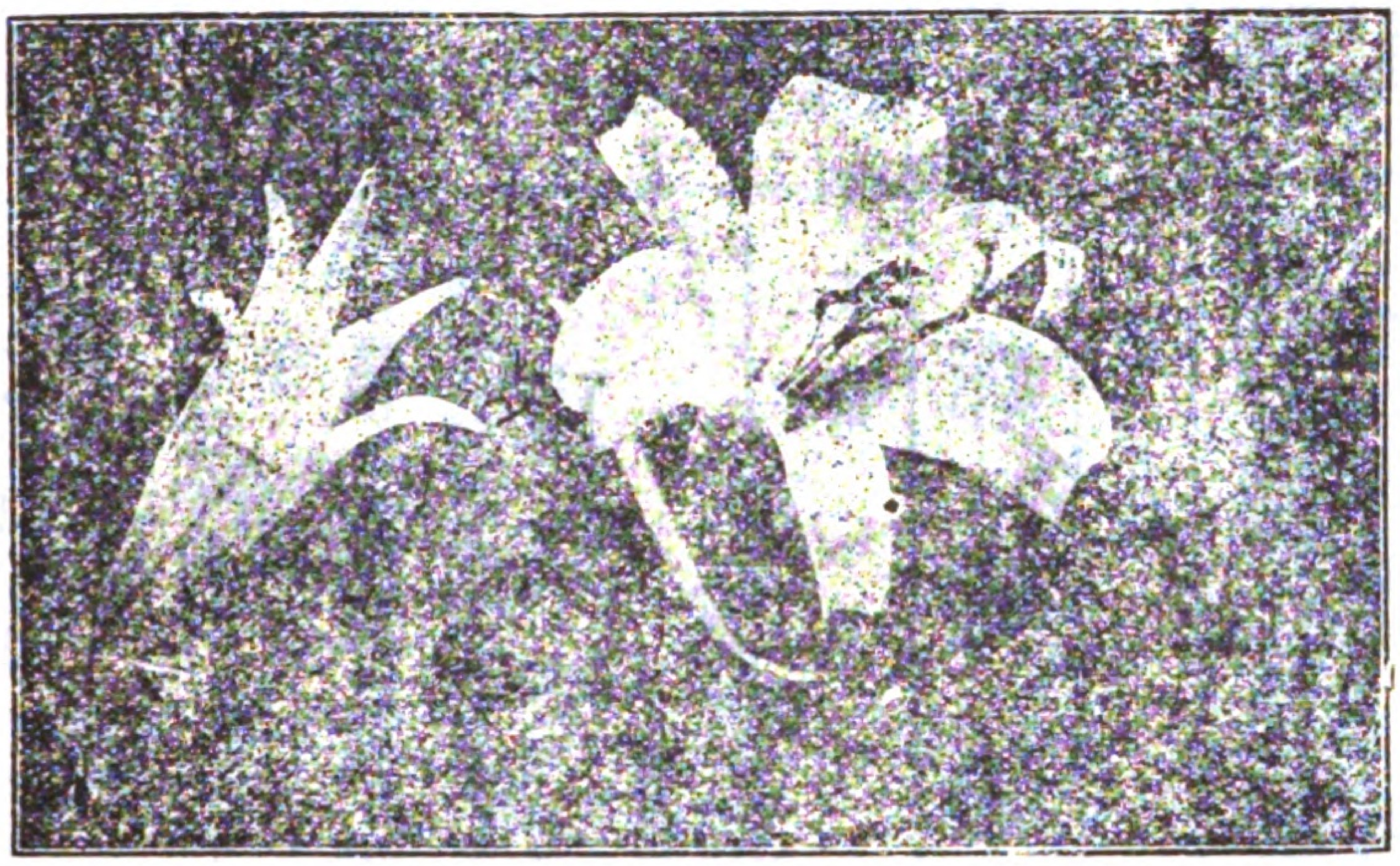
本舖　大阪靱南通二丁目

森田商店

電話土佐堀二六〇二番

振替大阪二二壹二六番

廓清
THE PURITY
大正七年十二月
第八卷 第十二號



# 廓清時言

## 物質文明の大決算

五年の久しきに亘り、人命を損する事八百萬、財寶を失ふ事一萬億に及びたる史乘未曾有の大慘劇は、秋風肅殺たる十一月十一日を以て休戰の條約成り、獨逸の屈服によりて茲に事實上の結局を告ぐる事となりたり。世界人類の爲め、歡喜抃舞せざらんとするも得んや。

余は嘗て一人の軍人が出征の門出に當りて、馬を傍に繫ぎ愛兒と袂別するの狀を描き、下に Are you going to kill father of girls like Me.? の文字を記したる繪畫を見て、痛く胸を打たれたる事あり。平和論の眞髓を一幅の中に描き得て妙を極む。國際道德と雖も戰爭は罪惡とするを原則とす。冀くば今次の大亂をして人類最後の戰爭たらしめよ、戰爭の悲慘は既に列國の徹底的に經驗したる處なり。

今やカイゼル沒落して專制主義は滅び、獨逸屈服して軍國主義は潰ゆ。デモクラシーは勝ちぬ、ヒューマニチーは捷ちぬ。天日は輝けり、十九世紀文明は決算せられたり。糜爛せる物質文明の極潮は颱風の如く人世を呪咀し盡して、溘焉一九一七年晩秋を以て逝き、新春和煦の大氣と共に新文明の大誕生は行はれんとす。

## 世界改造の大轉期

今日は世界改造の大轉期なり、此潮流に掉す國家は榮え、然らざるものは亡びん、多年特志家の運動を嘲罵したる、幼年禁酒法案は今次政府より提出せらるゝやの噂あり、果して然らば之れ實に世界改造の潮に掉すものなり。されど更に緊急重要なるは賣淫の國家公認制度の撤廢とす。去日我



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

醜業婦がマニラを追はれたるが如きは、深く省察すべき事件なり。然るに去る二日北越新報は、新潟縣警察部長の談として左の如き論説を掲げたり、其論旨の堂々たる全く吾人平素の主張と合致す。如斯當局者を發見するに至りたるは實に愉快千萬にして、又世界改造の潮に掉すものたらずんば非ず。即ち其の全文を錄して之を左に紹介せん。(江南)

# 公娼制度問題

新潟縣警察部長　高橋守雄

糸魚川町公娼設置問題に對する許否の權限は、自から他に存するを以て、敢て余の關知する處にあらざれども、只余一個の所見を語れば、余は何んが故に今日公娼設置の要あるや、到底其理由を解する能はざるなり。道德的批判よりする娼妓の價値(?)の如き、固より之を一言するに値せず。更に現時の法制上に於て、私娼を非認して、却て公娼を認むるが如き余は其一大矛盾たることを斷言するに憚らず。若し斯の如き者が、現代人間の道德進歩の程度に於て、事實上其存在を認めざるを得ざるものとせば、多少の犧牲を拂ふも寧ろ之を隱密の間に存在せしむるを、尚ほ人間の體面上可なりとすべし、然るに之を法律を以て公許するが如き、國家が惡を公許するにも齊しく、實に失體の極みと稱すべし。或は今日世界到る所私娼の存せざる處はあらざらむ、而も此不體裁極まる公娼の存置さるゝ處、我日本を措いて果たして他に何處に存するや。確に我國に公娼の存するが如きは、之を國家の一恥辱と爲さゞるを得ず。然るに公娼論者の謂ふ處を聞けば、必ず曰く地方の風紀維持の爲め必要なりと、風紀とは果して何を謂ふや。之れ公娼の存せざる處、私娼の多少跋扈する形跡あるを指稱するものならむ、然れども公娼も亦之れ同じく善良なる風俗を紊る者に非ずや。此點に於て果して私娼との間に何の選ぶ處かある。若し論者にして私娼は之れ風俗を紊る者、公娼は然らざる者と爲す者あらば、余は其餘りに事理に昧きを憫笑せざるを得ず。思ふに私娼の跋扈を取締るが如きは、自ら其方法あるべし、決して公娼の存否に關る事に非ざるなり。又或は衞生上より公娼の存置を可とする者あり。現時の法制上の根據の如き、大部分此處に存するもつと見るべきか、然れども之到底不徹底の見なり、今日の如き不完全極まる檢査制度を以てして、何ぞ病毒豫防に適すと爲すを得むや。余は寧ろ嚴格なる檢査を行ふに於ては、今日の賣笑婦は全部有毒者なりと稱するも、決して誇言にあらざることを、堅く信ずる者なり。若し強いて現制度の如きを辯護すれば、之を爲さゞるに稍優るものありと稱すべきのみ。其有力なる證據は、現時公娼の存在せざる群馬縣地方と、我新潟縣の壯丁査檢の際に於ける花柳病患者の百分比率を對照するも、決して公娼の設置されある地方は、病毒傳播の危險少しなどゝは斷定するを得ず。斯の如く何れの方面より見るも、公娼を新許すべしと爲すが如き理由を、到底發見する能はざる也。(下略)

# 獨逸敗亡の敎訓

廓清會長　島田三郎

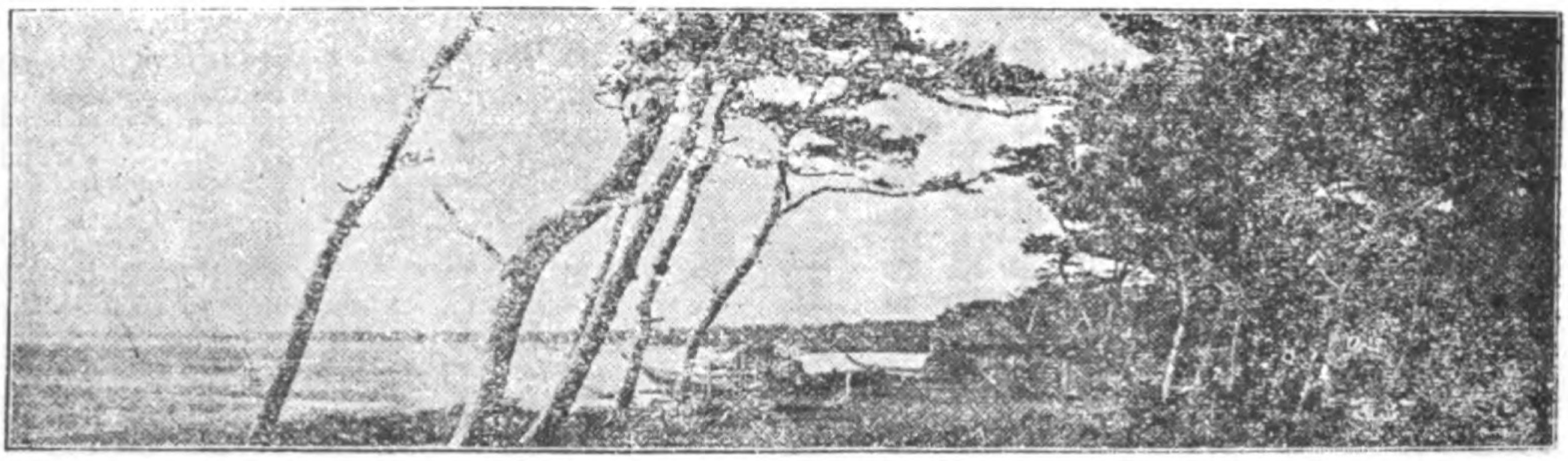
## □物質崇拜者の皮相的觀察

五年に亘れる大戰亂も遂に獨逸の屈服となつた。名儀は休戰であるが事實は降伏に外ならぬ。考ふべきは此戰の過去に對する觀察と後來に亘る豫想とである。惟ふに十九世紀の間物質的崇拜の精神は極度に達した。而して是れが戰亂の最大原因であつた。力が强ければ勝利を得る、勝利を得れば是非はそれによつて定まるといふ獨逸主義から軍備の擴張も國力の增進も皆此精神によつて動かされ、首尾よく其目的を達したが、目的を達すると同時に文明の進步と人世の幸福とは忘却せられ、其の行詰つたものが即ち今次の開戰となつたのだ。

幸にして聯合國の勝利に因つて世界を覺醒せしめ、世界の論評に一段の進步を來した如く見ゆる。けれども自分の意見から云へば尙ほ皮相を免れぬ樣である。即ち低調の論者は、勝敗は陸海軍の精銳の程度に因るものであつて、之を武器の勝利と見る者がある。是より稍高き調子の人は、武器の勝敗に非ずして國力の勝敗である。故に國力を增進せなければならぬといふ。其意は經濟力の涵養富力の充實にありて、武器の勝敗となす論者より稍意見の進めるを見るのであるが、武器の勝敗となすも富の勝敗と觀るも、共に物質の多寡を論ずる意見は一であつて、畢竟物質崇拜の範圍を免れない。

## □精神的滿足と平等の觀念

富の增加は結構であるが、何故結構であるかと云へば、其富が人世の幸福に使用せられるからである。然らば幸福は何に據つて得らるゝか、我の望む處を人にも與へたい人の好まぬ處を我は行ふまいといふ親愛同情の念がなければ、幸福は生じて來ない、共同 生活 の目的は達せられない。精神の滿足は贏ち得られない。



主人が豊かであつても家族が乏しければ、一家の幸福はない。資本主が過多の利益を得て之を放埒に使ひ、勞働者が心中不平を抱いてゐる會社は、滿足もなく繁榮もない。一國の關係も亦然りて、上に立つ少數の人が豊であつても下に居る多數の人が乏しければ一國の幸福は得られない。

此意味に於て精神的滿足と平等の觀念とがなければ社會の基礎は安寧でない。要するに今日は人格を認めて人權を重んずる迄に進歩した時代であるから、特に此點に於て正確なる觀念が必要である。これ迄の獨逸は力によつて成功した。其成功が世に不徹底なる人生觀を懷く所の武器崇拜者を續出せしめたのであつた。獨逸の此の根底を誤れる思想は、他の長所によつて掩はれて居つたにせよ、必敗は時間の問題と觀察するのが最も正確なる判斷である。不肖乍ら自分は開戰以來此の見解を終始動かさなかつた一人である。

## □獨逸の武力主義的發展

顧みれば獨逸は、ブランデンブルグの選擧侯から起つて、プロシヤ王國を作つたフレデリツキ一世の武を好める性質と、次で起れるフレデリツキ二世、卽ち世に大王と稱せらるゝ人の武事の成功によつて强國の列に入つた。其後ナポレオンに打擊せられたが剛悍不屈の獨逸の民性と、之を率ゆるに恰當したる主權者、及び之を助くる宰相の才幹とが合致したのがウヰリアム一世帝及びビスマルク公の成功によつて獨逸帝國を起すに至つた。其經過はビスマルク公が明言せし如く武器によつて運命を開いたのである。『議論は要なし決定の力は血と鐵とあるのみ』と云つて之を實行したものは彼である。始めに丁抹を破つてシユレスウイツグホルスタインを取り、次で墺太利を敗つて獨逸聯邦の覇權を握り、更に佛國を破つてアルサス、ローレンを取り獨逸帝國を建設して、大陸に雄飛するに至つた。卽ち前後を通じて武器の成功である。ビスマルク公は自負して『プロシアの軍隊は神の外畏るゝものなし』といふた。實際一時は其通りであつた。けれども是れが果して永遠の勝利であつたであらうか。

國民は勝利に醉ふた。御用學者も御用說敎者も此說に雷同して、驕れる君主を此方針に進ましむるのみであつた。其の根底の思想に不健全なる元素のあることを指摘する者はなかつた。あつても耳を傾けしむる程の勢力が缺けてゐた。

我等の眼から見れば、英吉利に芽を萌いて亞米利加に花が咲き佛蘭西に實を結んだ良心の自由信仰



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の自由人格の確認平等の主義等の觀念は、中歐及び東歐に深く進入しないで、中古封建の遺習が獨逸より墺太利に遺存して居つた。武斷主義の成功するのは卽ち此舊天地の產物であつて、爲めに人類共同の進運に後れた。學者も宗敎家も遺習に囚はれて過度に自國主義となり、弱肉强食、目的は手段を正視せしめるといふ二世紀程後れた主義の下に歩んで居つたのである。人格を見認めないで物質を崇拜した。動もすれば國論統一といふ名の下に、又整備の組織などいふ言葉の中に、不健全の抑壓主義を包藏し、是を外交に現はしては詐欺の辭令となり、是を國民に現はしては祕密の政治となり、是を國際の競爭に現はしては武器の威嚇となり、遂に行止つて了つたのであつた。

## □正義は最後の勝利也

多年準備した二百三十萬の軍備は、專門的訓練を經たので軍隊としては精銳といふことに異議はない。乍併其用兵の主義は人世の進步と逆行するもので動機は危險の性質を含んで居る。此主義が勝てば世界は三世紀程前に引戻される。物質主義軍閥主義は實に人文の發達を呪咀するものである。故に聯合軍勝つか同盟軍勝つかは、かゝつて人類文化の興敗を定むるものであつた。

抽象的敎訓であるから道理を重んじない人は輕んずるが、我等はそれを信ずるが故に獨逸の敗北を確信して居つた。それは何であるかといふと、言葉の舊套語である爲めに世人の輕んずる『正義は最後の勝利なり』といふことである。『凡て劍による者は劍によつて亡ぶ』とは萬世渝らざる最上の理法である。これが人事を支配すること恰も引力が宇宙を支配すると同樣である。一時變象を呈するとしても其成敗は時間の問題であつて必ず此言葉に支配されるのである。また一段下つた兵書であつても、『無名の師は成功せぬ』『兵は猶ほ火の如し收めざれば自ら燒けんとす』とある。聖賢の書よりも一段下つたものとして取扱はれてゐる兵書が、國の安危を論じて斯く云つて居るのである。是等の訓言數千年亡びずして尚世に遺つてゐる所以は何であるかと云へば、幾億の人が今尚之を信ずるからである。乍併物質崇拜者には此理法が徹底的に理會されぬであらう。故に予は今少しく獨逸を中心に天下の形勢を論じて、事實の上から論議を進めて見やう。

## □畏る可き獨逸の野心

獨逸は前カイゼルの卽位から凡そ三十年の間、父祖の餘業を擴張して佛國の征服英國の壓倒に汲々たる有樣であつた。外交もそれなり、軍備もそれなり、殖民もそれなり、經濟もそれなり、全力を國力の膨脹に注いで所謂虎視眈々、機會を狙つて鋒鋩を各方面に現はした。

東洋に手を延ばさんとして一番隙のある土耳古と支那とに注目した。英領に多數住する所の回敎徒を手に入れんとしてカイゼルが回敎徒の保護者を以て自任したのは之が爲めである。土耳古と同盟の如く振舞つて土耳古の甘心を買つたのも之が爲めである。更に東洋方面に手を延ばさんとして學者に支那の地質や經濟を調べしめた。機を狙つて手を着けたのは



Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日本が支那に勝つて遼東を割攘するとになつた時て、獨帝は此機に乘じて佛露を強制し煽動して其結果三國干涉となり、更に黃禍論を提出して東洋民族に對する西人の憎惡心を高めしめ、露國の注意を東洋方面に向けてバルガンを空虛にし、是を手に入れんとした。日本の放棄した遼東を露國に與へるのを默認して支那不割攘主義を破らしめ、是によりて獨が支那の南方に手を下す事を露に承諾せしめ、宣敎師二人の殺戮せられたるを奇貨として膠洲灣を取つた。是に對する支那民心の反抗が遂に彼の義和團の騷亂となつて現はれたのであつて、當時如何に獨逸が支那の國民に憎まれたかは、獨逸の外交官ケットレルが北京に殺戮せられたのを見ても明白である。

更に露西亞は獨逸の詭計に乘ぜられて、日本と事を構へたのが日露戰爭である。是に由りて露國は疲弊した。此間密に笑を含んだのはカイゼルである。次てベルリン條約を破壞して大セルビアの冀望を絕たしめ、ボスニア●ヘルデコリアの二洲を墺太利に取らしめてセルビアを抑へ、露を制して、墺の歡心を乞ふて之を味方とした。露は此擧を怒ると雖も敗後の弱勢は如何ともすることが出來ぬ。是が今次大戰の遠き原因であつた。果してセルビアの人民は墺太利と兩立せざる敵愾心を起して、墺の皇儲夫妻を暗殺するに至り大戰の序幕が切つて落さるゝに至つたのである。

## □個人道德と國際道德

要するに世界を攪亂するのは獨逸の軍國主義て、其中心はカイゼルである。彼の考が着々當つた如く見ゆるが、自國あつて列國あるを知らざる主義、自己あつて他人あるを認めざる、極めて厭ふべき私人の思想が果して成功しやうか、人として成功せぬことが國として成功する謂はれはない。孔子も『己立たんと欲せば人を立てよ己達せんと欲せば人を達せよ』と云はれた。今日は人として自己の獨立と共に他の獨立を敬重する迄に進んでゐるのである。不充分ながら自由平等の主義を理會して居る國民は、嘗て人權尊重の洗禮を受けて居る英米佛の國民である。ガリバルジーや、マヂニー等の精神的活動によつて國を建てたる伊太利も此氣風に涵養されて居るから、此等の國民の信念と、獨逸墺太利露西亞の信念とには非常の差違がある。屢々平和の仕組を確立したいと唱導する國は、何時も獨逸に支へられたのである。獨逸が他國征服の目的で軍備を擴張するから、自衞の爲めに餘儀なく佛蘭西も軍備を整へねばならぬ境遇になつて、獨逸は佛蘭西の其軍備成らざる内にセルビア●オーストリアの事件を口實に大戰の端緒を開いたのであるから、要するに多年の計畫と云ひ、己れあるを知つて他を認めざる物質崇拜、領土擴張、人權國權不平等腕力卽ち權利と云ふ不健全なる思想の產物が、假し過去に於て着々其目的を達し得たとするも、現代文明は之に反抗して進みつゝあつて、人々の間に行はれるものが國と國との間に行はれぬ道理はないから、一勝一敗はあつても、終極の勝利は暴戾なる獨逸側に屬せずして正義は最後の勝利であるといふ確信を動かすことは出來ないのである。

## □獨逸敗北の形勢歴々

玆にまた、如何なる方面から見ても、獨逸は領土の擴張が出來ぬといふことを明確にすべき事實がある。獨逸のまだ强力を示してゐる時分から形勢は定まつてゐたのである。彼の佛蘭西に勝つてアルサス・ローレンを割取したるは今より四十八年前の事である。然るに此二洲の人々は佛蘭西を慕ひ、二州内常に紛擾を重ぬるのみで依然として獨逸化しない。更に遡ればポーランドを割攘してより百二三十年經て居るが、教育に公文に獨逸の言文を强ゐて使用せしめて强迫的に獨逸化せしめんと努めたが、今回の戰爭に於て波蘭人は、獨逸を愛する國民でなく、民族主義によつて別個の國たらんとしてゐることを明白にした。百年五十年經つて獨逸化する能はぬ政治が、如何にして領域を擴めることが出來やうか、國といふは土地の謂でなくして、土地の上に住ふ民の謂である。

是と反對に二十年前、英國に反抗して武力を以て取られたトランスバールの人民は、今日安全なる自治の民となつてゐるから英帝國から分離する心はない。而も面白いのは二十年前に少年士官として英軍を邀擊した者が、今回の戰爭に參加しトランスバール軍を率ゐて英帝國の維持に努めてゐるのである。更に適切の例は、一千餘萬の獨逸民族を包容してゐる亞米利加合衆國は、其内から適齡の軍人を徵募して之を佛伊の戰陣に送つて愛國の精神を發揮せしめてゐるではないか、まだ種々の例もあるであらうが、私の記憶してゐる一例を擧ぐれば、シュルマン・ハインクといふ名高き獨逸生れの婦人がある。之は歐羅巴諸國にも名を知られた美音の人であるが、獨逸に居つた時、二人の男兒を得、中年に亞米利加に移住して又四人の男子を擧げた。即ち種族は獨逸人で國籍は亞米利加人であるが、米國の參戰に際して四人の米國で生れた子供を勵まして從軍せしめた。此子供等は忠實なる合衆國人として獨逸を破る事に努力した。婦人自らは各地を周遊して音樂會を開き、其所得を軍人慰問の爲めに獻金したのである。此一事を見て勝敗は決して居るではない乎。

如斯に形勢を觀じ來れば、絕理から來らずとも、勝利の獨逸にあらざるは諒解に難からぬ筈である。獨逸の書を讀み獨逸の文化に心醉した人々の、勝利は獨逸にあると見た短見は眞に笑ふに堪えたるものである。

## □專制治下の民と自由民

更に成敗の數を指示すれば、最後の休戰條約を申出づる迄講和の發議は何處から出たかといふことである。それは前後四回獨逸から出てゐるではないか、或は獨逸の議會に於て發言して、之を列國に傳へ、或は參戰以前米國の大統領に仲裁を諷し、或は羅馬法王に頼み、或は和蘭の策士前外務大臣何某を倫敦に遣つて遊說せしめた。講和の發議が勝者の口から出る譯はない。長く戰爭に堪えざる苦痛があるから、東の方面を攪亂してブリストリウスク及びブカレストで定めた位の東方の利益を得て講和したいと喝望したのである。墺太利は疾うから戰に倦んでゐた。是等の事は具に形勢を察する識者の眼には分つてゐた。されば英米佛とも獨逸の發言に耳を傾けず徹底的の勝利を得て專制主義軍國主義の君主を除かねば、世界の平和は保てぬと明言して居つた。此等外に現はれ



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

た事柄だけても結局の勝敗の運命は決して居るてはないか。更に軍事に就ても獨逸は勝目はないのである。それを勝つ如く言ひ觸らして獨逸人民其者を欺いて強ゐて戰を繼續したる跡歴々たるものがある。獨逸の軍隊は自由に故郷に書狀を出すことを許されない。是は形勢の必勝的見込ないことを人民に知らしめ、内部から反對する者あるを恐れたからで、必勝の如く言ひ爲して國民の元氣を強いて皷舞する必要からである。是と反對に聯合軍側は自由に通信を許し、特に英米兩國は各種の團體を後援隊として、軍人の便宜を圖り、慰問者として手紙の往復を助け、形勢狀況を國民に知らしむることに努めた位であるから、此點に於て、專制治下の民は秘密に支配せられ命令に動き、自國の民は自ら發する義憤の念に騙られて働くものであることを示して居る。人心の機微を察する者は、何れが長く戰爭に堪えるかに惑はぬであらう。

## □最後の投機的大戰爭

本年三月下旬に、獨逸は大擧して聯合軍を突破せんとした。此時遠き日本にも獨逸の勝利を信ずる短見者流が少からずあつた。併し是は獨逸が試みた最後の投機的戰爭であつたことを知らねばならぬ。ブカレストの條約とブレストリウスクの條約によつて、獨逸は表面上一時東方を顧みる憂を除いた。是て講和を結べば西には失つても東には多くの獲物がある。之を聯合國に確認せしむるには一大捷利を得ねばならぬ。亞米利加は時日を經る程多數の兵を歐羅巴に送る形勢であるから、此援軍多數の到着に先立つて露西亞方面の軍隊を佛蘭西の方に向け、早く勝利を得んと焦慮したのが此の一擧である。國民を欺くのを政治の要訣としてゐる政府が、必勝を外觀に示して此投機的戰爭を計畫した。

人の損傷を意とせずして猛烈に攻め掛つたから、最初の手合せは聯合軍は敗退した。同時にクルップの特製であるといふ遠距離の怪砲を放つて巴里の人心を寒からしめた。吾人は此時の獨逸の淺薄及び之に欺かれたる國民の短見を哂はざるを得ない。ヒンデンブルグは一ケ月後に我は巴里にあるべしと放言した。カイゼルは我軍勝てりと揚言して、最高の勳章をヒンデンブルグとルーデンドルフに與へ、クルップ會社の砲力を激賞し、使を皇后に遣はして戰捷を報じた。戰爭中に勳章を與ふることは珍らしくない。ナポレオンも之によつて士氣を鼓舞し戰機を作振した。併し勝利の一段落を見た時にはあるが僅に一陣の前方を破つて勳章を與へるのは、見聞狹き自分としては珍らしい例で、是は勝利を過大に言ひ觸らして軍氣を振ふと、其後にある國民を安心せしむる手段に過ぎぬ。

聯合軍は國民と共に戰爭する主義であつて、獨逸は國民を欺いて戰爭に飽しめぬ主義によつて戰爭したのである。從つて時日の經過によつて破綻百出收拾すべからざるに至つた、就中休戰條約成立した後の發表によつて、北海の港に潛める八萬の海軍が、將校の命令に服せずして却つて上官士官を虜にして蜂起背反したといふことが、獨逸の最早屈服せねばならぬ極度の離反であつたといふことが分つた。同時に陸軍の軍氣沮喪したことも推測することが出來る。

それは獨逸の海軍當局が此の八萬の海兵に戰爭の命令をせ

ずして、大操練をなすのであると號し欺て戰爭をせしめ樣とした。士官にだけは事實を告げたので、一士官が訣別の狀を其家に送らんとしてそれが海兵の手に落ち、事實の暴露となつて、謀反の暴發となつた。海軍の方では堂々と戰ふには餘りに微弱である。嘗て北海の一戰に英に敗れて以來、獨の海軍は軍港に雌伏し、萬一を潜航艇の奇襲に委してゐたに過ぎなかつたが、最後の投機的決戰をなさんとするに當つても、大海戰の見込立たざるより、之を公知せしめず大操練と欺き八萬の海軍を戰はしめんとしたるより起たのであるといふ。

## □潰敗は合理的歸結のみ

之を要するに政治家は人民を欺き、上流の軍人は下層の軍隊を欺き、確實勝利の見込なき戰鬪を續けたのである。一度休戰の條約を言出すや、土崩瓦解、休戰即屈服の弱勢を天下に暴露したのは、以上述べた形勢の當然の結果である。

自由の空氣が世界を風靡して、各人格を自尊するに至つた今日、專制政治軍閥主義の行はるべき理由がない、他の點には長所があると見られた露國の瓦解も是れから來た。歐羅巴の名家として歷史的に推重せられたるハプスボルグの墺太利帝國の分離したのも之が爲めである。特種の神の選民であると稱して國民に驕慢心を吹込み、其實國民を欺いて世界の覇權を握らんとせし獨逸の敗亡も之が爲めである。

概括して言へば、獨逸の敗北は世界の進歩に後れた舊思想の敗亡である。世人が正義の勝利と云ひ人道の勝利といふが、唯熟字的に今回の勝利を漠然と見るのは物足らぬ。自分は今日の戰爭が合理的の結果を得たと確信するものである。過去は將來の教訓であるから、今後の國家を經營するには此大勢を看取して、人道正義と合理的進歩の軌道を履むことを念とせねばならぬ。

吾人は今年の終りの號に於て、玆に過去の批評の一端を述べた、更に新しき年に於ては後來の事を諸君と共に研究したいと思ふ。

## 醜業を強いて成金となる

英國に於ては婦人に醜業を媒介する者即ち樓主の如き種類の男子に對しては、人間の性を失ひたる動物なりと見做し、動物は叩いて教育せざる可からずとし、特に野蠻時代の笞刑を復活し、之を彼等に科しつゝある程にて、我國に於ても往時は樓主の事を亡八と唱へ、仁義禮智忠信孝悌の諸德を亡ひたる者として之を卑しみしに、今日は市會議員となり學務委員となり、種々の公職を汚し、先日なども福岡市にては憶面もなく全國貸座敷業者第二回大會など開き居れるが、戰時特別利得によりて所謂成金税を課せられ居る樓主少からずとの事なり。無智の婦人を集めて奴隷とし、之に醜業を強いて以て成金となり、所謂成金税の徵收を見る社會の道德之を何と評すべきであらう乎(江南)



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 家族に於ける子供の地位

早稻田大學教授
廓清會副會長 安部磯雄

## □家族の起原と性慾

家族といふものがどういふ風にして起つたかといふ事は、社會學者などの研究してゐる處だが、普通人々の考へてゐるところは、家族の起原といふものは、男女の所謂性慾にあるといふ。つまり性慾といふ本能性があつて男女が一つになるといふ事は、之は人間に限らず下等動物から始まつてゐる處であるから、大概さう考へるのは當然である。

併し社會學から考へて見ると、男女の性慾があれば、必ず家族が出來るといふ事はいはれぬ、下等動物にも男女の關係はあるが男女の關係必ずしも家族を作らないのである。下等動物にも强て家族と云へぬ事もないものもあるが——若し人間も男女が相集まつて特別の關係を結ぶといふだけで、子供を教育する事を豫想してゐないならば、家族の起るべき理由がない樣に思ふ。假へば茲に男女が始めから子供がないと知つてゐたならば、其の男女が一軒の家に共同生活をする事が必要であらうか、私共には明に分る、夫婦とも若し職業を持つて居り、そして、夫と妻の働いてゐる場所が違つてゐるとするならば、女は女の働いてゐる場所に近く住み男も其働いてゐる所に近く住み、又は下宿住ひてもして、そして休みの時に兩方から訪問するといふ樣な事でも、極端に云へば夫婦關係は持續される譯で、つまり夫婦といふものは別居してゐてもよい譯である。

## □家庭と子供との關係

數年前に新しき女などいふ事が盛んに唱へられゐる時に、一時てはあつたが、彼の人達の考ては、自分等の新家庭を作るのは子供を得るためてはない、自分等の戀愛を滿足させる爲めてあると云つて、子供の事は眼中に置かなかつた。從つて子供の事を考へてゐないから、其家庭は極めて根據の弱いもので、集散離合別に定つた事のない。そして斯ういふ思想が一部の青年男女の間に大分勢力を逞うした。

これも子供を眼中に置かねば結論はさういふ事になるのは當然で、家庭と云ひ家族といふのは、どうしても根底は子供にあると思ふ。子供があれば家庭の必要が起る、子供がなければ家庭は要らない。今日でも野蠻人の間には子供が母の乳を離れる迄は夫婦が一緒に居るか、乳離れすると夫婦關係は絕えて、そして更に男も別の配偶を求めるといふ野蠻人があ



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

る。之も考へて見ると私の今いふ處を確めるものになりはしまいか、野蠻人は多く熱帶であるから子供でも割合に早くから自分の食餌をあさつて、自分で生活する事が出來る、從つて父母が長く養育する必要がない。文明人よりは少くとも早く獨立が出來る。そこで夫婦關係が薄弱で、いつでも解體し取代へる事が出來るのである。

## □家族進化と教育の時期

然るに人間は子供を育てるといふことが、下等動物よりも時期が甚しく永い。下等動物も子を育てるが、鳥の樣なものは一二ケ月でもう自ら餌を探して食べて行けるから、我々の意味の家庭の樣なものは持たぬ。人間は幸にして――といふ言葉が當つてゐるかどうかは別として――長いから、それで此の家庭といふものが段々出來て來發達して來た樣である。子を教育するには兩親共同の必要がある。其の便宜上家庭といふ共同生活體が發達して來る。日本の諺に「子は鎹」といふ言葉がある。これは通常子があれば夫婦喧嘩をしなくなる、離反しなくなるといふ位の意味に用ひてゐるが、社會學の上から見れば、子は鎹といふ言葉は甚だ重要な意味がある。實際子を教育するといふ事が長い時日を要するのでないなら、今日の樣な家庭は成立たぬ。我子を養ふ爲めに段々進化してそして今日の樣な家庭を作る事になつて來たのである。

處が今日は子供の教育の時期といふものが非常に長くなつて來た。昔は子供を養育するだけで、獨りでに自分の生活費を得る事になればもうそれでよいとした。然るに今日は教育といふ意味が非常に高尙になつて、教育時期は著しく延び、男は二十五六女も二十二三になつて來た。これが家庭といふ上に大影響を及ぼしたのは勿論であらう。

## □子供中心の思想

教育の時期が短い時には、やつぱりそれだけ夫婦關係が薄弱であつた、ずーつと夫婦關係の歷史を見ても、昔は一夫一婦制の樣なものが嚴格に行はれてゐなかつた。一妻多夫といふ樣な制度も行はれてゐたし、それから今でも何處の國にも少しはある一夫多妻といふ制度が行はれた。それが次第に子供の教育といふ事に非常に重きを置く事になつて、養育といふことは單に食はせるといふだけでなく、教育を含む事になつて來て見ると、一人の夫が二人も三人もの妻を有つ事は、教育上宜敷ない、母は自分の子だから熱心に教育もするであらうけれども、父親は二人も三人もの妻に各子供があるとなると、どうしてもそんなに熱心になれない。そこで何れが子供の教育の效果が多いかといふ利害關係から一夫一婦に進化して來るのである。一妻多夫や一夫多妻では家庭は必ず混亂する。さういふ處では屹度子供の教育の結果が宜しくないから教育上の立場から云つて、人間は知らず識らずの間に嚴格なる意味の一夫一婦に進んで來たのである。

て簡單に云へば――獨斷であるかも知れぬが――子供の教育時期の延長されたといふ事が、家庭進化の主因であると思ふ。勿論道德や宗教から云つても、一夫一婦に進むのは當然の事ではあるが、乍併道德宗教といふやうな事でも、よく考

へて見るとやはり社會の必要から起るのであつて、道德觀念の如きは利害觀念からやはり起つて來るのである。卽ち團體の利益を圖ることが自分の利益であり、團體に迷惑をかける事は結局團體に忌まれて自分の不利益となるのであるから、決して私は道德宗敎といふ様なものも、單獨に考へる事は出來ない。從つて一夫一婦といふやうなことも、私は不知不識人間の利害問題から、進んで來たものであると思ふのである。どうも社會學の上からさう觀察するのが妥當であるやうに思はれる。

さう考へると私共は家庭とか家族とかいふものを思ふ時に大に子供に感謝の念を持たなければならぬと思ふ。といふのは今日の敎育といふものは子供に負ふ處が多いからである。或は極端な言葉かも知れぬが、子供が親に大なる恩を受けて居る事は無論であるけれども、同時に親は子供から少からず恩を受けて居るのである。今日の様な社會に進んだのも子供があるからである。抑も家庭の起原からして子供であるのだから、我々は子供に對して尊敬感謝の念を失つてはならぬ。家庭の中心が子供にあるといふことは、決して私共は一時的の感情などからいふ事ではない、社會學の上から極めて强い根底を持つものなのである。

## □我等將來の廓淸運動

斯様に考へて來ると、私共の廓淸運動の如きもこれからは家庭の問題といふ事に充分注意して改善を期して行かねばならぬ、私共は婦人の地位を高めるといふことを力說すると共に、子供といふものを飽迄も擁護して、子供を大切なものと考へる思想を擴げしむるのは肝要な運動であらう。私共は祖先に對して色に敬意を表する。祖先崇拜といふことが矢釜しく云はれる。けれ共私共は寧ろ自分の子孫を重んじ崇拜するといふ事になつて來たならば、どの位社會は進步するか分らないと思ふ。私共の思想の全部を子供といふものに注ぐといふ事になつて來たなら、我々の道德といふものはどんなに進むか知れない。男女問題の如きも容易く解決が出來る。我々が凡て子供を中心に考へて行くならば、社會全體の風紀といふものは、必ずそれだけで改まるのである。

私共はかねて社會の弱い階級の爲めに力を盡してゐる。其の弱い階級といふのは第一男子に對する婦人であり、第二は資本家に對する勞働者、第三は大人に對する子供である。此の三階級に私共が充分の同情を以て之を擁護して行くといふ事とするならば、社會の爲めに非常な幸福を來すべきは明白である。私共は婦人の爲めに盡すのは勿論であり、勞働者の爲めに働くのも無論分つてゐるが、同時に子供の爲めに將來諸君と共に大に盡して行きたいと思ふ。

◆東京市内の藝妓は、今年一月から十一月までに、五千七百六十一名が六千五百十一名に、藝妓屋二千百四十三戸が二千四百三十戸に、待合千三百三十二戸が千三百七十四戸に殖えた。米が高くて食に困る一方に花柳界は段々繁昌してゐる。

◆淺草千束町の魔窟が造化屋と變じて跋扈してゐたのも、當局の取締によりて漸く全滅の日が近いて來たが、近來彼等は更に一策を考へて今度は繪葉書屋となつて現はれた。そして相變らず店先に若い女の姿が見え鼠鳴をしては道行く人を呼んでゐる飯の上の蠅とは眞に彼等の事である

# 海外醜業婦問題について

廓清會理事　油谷治郎七

## 一　マニラに於ける我醜業婦の放逐

米國戰時の廓清運動は比律賓に波及した。米國本土と同じく陣營附近の廓清を初め、青年を誘惑すべき各種の不潔なるもの丶排除に努力してゐる。而して其波動は遂に日本醜業婦の上に及んで來た。十一月二十五日の東京朝日新聞比島通信員は報じて曰く、「マニラ市東北に位せるサンバロクのガアデニヤは今日まで一廓を劃し、土人日本人の紅燈を默許し、土人百七十八名と日本醜業婦百四名女將十七名にて、盛に肉の切賣を爲さしめたるものなるが、去十八日市長ルクバンと市警察部長ホーマンは遂に彼等の退去を命じ全く其自由を拘束するととなれり。此の如きは由來民主思想の旺盛なる比島には殆ど稀覯の高壓手段と稱せらるゝ之が爲め邦人醜業者の騷動困難は殆ど名狀すべからざる光景に陷りたるのみに止らず、此一劃を中心とせるマニラ市在留の邦商中頗る密接の經濟關係を有するものありて彼等の驚愕又度を失せり。無盡講、醜業者各自と女將との貸借關係、家財什器の整理等何等手を染むるの暇なく、郵船香取丸を初めとし東洋汽船コレア丸、商船シカゴ丸、エンサル丸、シベリア丸等マニラより對岸支那並に日本に航海する便船毎に數十名づゝ退去せしめたり、云々」、余輩は此文を讀て、一面には比島當局者の痛快なる手腕に敬服すると共に、他面には我國民の不面目此上なき有樣を想察して心竊に耻ぢざるを得ない。而して是單に比島のみのことゝ思惟する能はず。やがては布哇に於ても、將又米國大平洋岸のサンフランシスコ、サクラメントを始め、オレゴン、及びシアトル等に於ても、同じく醜業を營みつゝある日本國民の蒙るべき不面目にあらざるべきか。彼等數千の沈倫せる婦人と其背後に潛む破倫悖德の輩が受くる不面目は尚忍ぶべし。彼等醜業者を我が官權の自ら取締るとをなさゞるがために、七千萬の同胞の耻辱を釀すに至つては實に堪へがたいことではないか。且又此問題は米國の領土のみではない英領たるシンガポールやカルカタを始め、或はカナダ、或は濠洲の都市に於ける我が醜業婦を一掃する手段に出づるも遠くはあるまいと察せらるゝ事由がある。余輩は寧ろ斯かることの早からんことを望むでゐるものであるが、一方には彼より制せられずして我より自ら之を制するの態度に出て面目を汚がすことを減じたいと思ひ。而して他方には防止禁壓の手段と共に救濟保護の方策を案じて、可憐の婦人を奈落の底ま



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て墮さないやうにしたいものだ。是は政府當局者と社會事業家との協力に期待して止まざるところである。

## 二、國際會議に於る我が海外醜業婦

日本婦人が米國太平洋岸の都市に、支那及び東印度の各港に、さてはサイベリアの野に、好ましからぬ醜體を演じつゝあることは、夙に歐米有識者間に問題となつてゐる。余輩は直接に嚴肅なる非難の聲を耳にしたること再三に止らず、深く國民的恥辱と感じてゐる。歐米諸國にも亦所謂「白人奴隷」と稱せらるゝ醜業婦人の世界の各地に横行するもの少からざるは事實である。而も歐米に於ては輿論が非難するのみならず政府當局に於ても自ら取締を以て足れりとせず、各國協力して此國際間の害毒を撲滅せんがために國際會議を催せること已に數回に及んでゐる。（第一回は一八九九年ロンドン、第二回は一九〇二年巴里、第三回は一九〇六年、巴里）第三回の國際會議は歐洲各列強政府の代表者相會し所謂白奴問題に關して討議し、各政府の權力を以て其禁壓を計る方策を決して國際的協約を結んでゐる。之に調印せるもの四十八國及び植民地を算ふ。此國際會議に於て各國代表者の注意を惹きしものは、モーリスグレゴリー氏の提出したる日本に關する案である。今全文を譯して我が國辱が歐洲の中心に於て列強代表者の國際會議の問題となつたのを察するの資料に供する。

**日本を醜業婦の海外渡航取締に關する國際的協約に加入させねばならぬ理由**

一、日本の如く重要なる國家を醜業婦海外輸送禁止の國際的協約より除外すべきものにあらざることは國際的同胞主義の要求するところなり。

四千六百萬の精氣旺盛なる人口を有する日本の勢力は將來の世界の歷史を左右するに尤も肝要なるのみならず、隣國支那の三億五千萬人の未來の支配者たるべき數千の支那青年が日本の諸大學に學びつゝある事實は、即ち日本が世界の福祉を增進する凡ての大運動の先頭に立つべきものなる命運を有するものたることを示す。

二、日本は歐洲諸國のそれと同じく妙齡婦人の保護に關して解決すべき問題を有す。

日本の妙齡婦人が醜穢なる目的のために國際的に輸出せらるゝは隱れなきことなり、今其事實の二三を擧げん。

（イ） 滿洲。ロンドン●タイムス特派員が日露戰爭後日本の新領土たる滿洲を踏査したる報告は、明かに或種の日本婦人が千百となく續々同地方に入込み殆んど到らざるところなきまでに散在して其勢力を逞ふし同盟國民の面目を汚がしつゝあることを示せり。

（ロ） **印度支那の佛國植民地。**千九百五年七月二十五日發行の「ラ、フランス、メヂカール」の誌上には、トンキン地方のハイフォン、ハノイ、イエンベイ、ラオケイ、モンツエ等の都市には日本醜業婦の跋扈することを述べたり。彼等が海外に輸出せらるゝ原因は兩親の貧困によるなりと稱せらる。サイゴンの新聞「ロピニオン」は、日本の長崎と佛領印度支那のサイゴンとを兩中心として、日本婦人が交趾支那地方に夥しく輸出せらるゝことを報ぜり。少女を誘



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

拐する惡漢輩は、農地若くは石炭船に於て低廉なる勞銀にて勞働する美貌の婦人を誘ふに、朝鮮又は上海に好地位を與ふべしとの餌を以てするなり。而して上海に着するや夜中に他の汽船に移らしめ香港に赴き、香港に於ても亦同手段を弄して、終にサイゴンに到るなり。此處に於て三百乃至八百ピアストルの代價を以て賣買せらる。「ロビニオン」の報ずるところによれば、サイゴンに於て屢々ボーレッセ街の遊娼屋の主人共の間に是等婦人が競賣に付せらると云ふ。日本醜業婦はサイゴンより更に遠く進んでシンガポールの英領植民地に送られて賣買せらるるなり。

(ハ) **シンガポール**。英國議會の青書第二千九百三號の第十九頁には明かにシンガポールに於て「日本娼家の多數」の存在することを記せり。

(ニ) **バタビア**。蘭領東印度の主都なる同地に於て發行する「ウイクブラッド、フォン、インデエ」新聞は、其千九百六年七月一日の紙上に於て、五欄を埋むる長文を以て日本醜業婦のバタビヤに輸送せらるゝ情況を報道せり。

(ホ) **ラングーン**。ビルマの主都なる同地に於ては、千九百六年九月警察長官の報ずるところによれば、日本娼婦百八十人あり、二十五人の男子は是等娼婦の所得に依つて衣食しつゝあり。

(ヘ) **カルカツタ**。英領印度の首都なるカルカッタには白人娼婦の代りに日本娼婦の輸入益々盛んにして、コリンガ、バザー街には日本の娼婦約七十名の在るあり、數名の男子は彼等によりて衣食するなり。「カルカタの警官は歐洲より來れる娼婦に對するごとく。日本婦人に對しては特別に防止する手段を取らず、蓋し警官は彼等はアジア人にして印度の娼婦と同地位のものなりと考ふるによる」と報ぜらる。日本婦人が印度に於て歐洲婦人と同樣に尊敬せらるゝやうに計るは日本の義務たり。

(ニ) **ボンベイ**。ボンベイにはクルセッジ、スクラジ町と呼ぶ評判の町あり、以前は歐洲人たる娼婦の巢窟たりしところにして「白人小路」とも稱せられしが、今や此町全く日本娼婦を以て充たされ、千九百六年九月には百名の日本娼婦あり、其背後に十數名の日本男子の之に衣食するものありき。

(ホ) **米國カリフォルニア**、サンフランシスコ震災以前には同市のみにて四百名の日本娼婦ありき。彼等は正當なる職業をなす婦人と僞稱して日本より輸入せられたるものなり、彼等が奴隸的悲慘の情態にあることは、震災に於て公に暴落せられたりき、震災のうちには、多くは窓より街上に投げ出されたりしが、彼等は世界の何處に生息しつゝあるやも知らざりきと云ふ。震災後是等の少女はサンフランシスコより灣を横ぎりてオークランド及び其他の都市に移されたり、(以下記するに堪へざるが故に略す)日本の娼婦はサクラメント、ストクトン、ワルナット、クリーク、ロスアンゼルス、サンデアゴ、サンジョーセ、及びサクラメント谷の諸村に散在せり、殆んどカリフォルニヤ全州に普及す。

**三**、日本は國際的協約に加はらざるべからず、蓋し歐洲人民

のうちに在る如く、日本人民のうちにも此點に關して日本人の福祉を熱望するもの少からざるが故なり。

千九百年日本政府は勅令を以て娼妓契約の無效にして自由廢業の可能なることを告げられたり。其後千九百五年日本衛生局の公報によれば一萬一千人の娼妓の廢業を見たりと云ふ日本の新聞紙は衷心より此運動を援助せられたり。

以上グレゴリー氏の述べたる事實は千九百六年頃のものに基いてゐる、又日本婦人の海外に於て恥をさらせる範圍も小區域に限られてあるが、實際今日に於て海外に横梁を極むる日本醜業婦の情態と其範圍に至つては之に倍加するものあることは述ぶるまでもない。

## 三、健全なる海外發展を沮害す

世界大戰の後に於ては我日本の世界的位地は大に進み、國民の世界的活動の旺盛なるべきは明であるが、善良なる國民の海外發展を沮害する大なる者は、海外にある醜業者である。海外發展の草分け時代には、彼等の雄飛も多少恕すべきところもあつたかしらぬ。而も今日雄斷せずんば近き將來に於て益々國民的恥辱を増すのみならず、國民の健全なる海外發展を妨げて悔を千載に遺すことになるてあらふ。(一一、二六)

## ‖□□婦人奮起の時□□‖

女子高等師範學校教授　下田次郎

英國で最近戰時貯金の爲めに働いたミス、フレーザー女史の『戰爭と女子の事業』と題する著述は歐米婦人問題研究家の間に非常な反響を與へたものであります。これによると戰爭中英國の婦人が如何に多方面に活動したかゞ解る、それは啻に英國婦人のみならず、米佛の婦人達も同じやうに働いたものと見られます、即ち單に主婦として留守を守つて子供を教育し家事を取るといふ丈けでなく、男子に代つて凡ゆる活動をなし、戰場に於ける飛行器の組立てをするとか、看護事業に當り、戰線ばかりでなく伊太利エジプト、メソポタミヤ、パレスタイン等英軍の到る處女醫看護婦が傷病兵の看護に任ずるとか、或は兵士と行動を共にし器械の運轉使用から武器の製造引いては巡査及び留守宅慰問保護等、何れも婦人の自發的の企てゞ決して男子側からの要求でなく、必要と認めたことを、各種婦人の團結でこれに從事した如き、日本の婦人などには到底眞似も出來ない處であります。

ミス・フレザーは今度の戰爭は女子教育の如何に效果あるものであるかを承認したものだと云つてゐますが、日本婦人にとつては、こんな出來事に遭ふことが如何に日本婦人の缺點と無教育とを曝露した恐ろしいものであつたか知れません。英國では一九一四年まで頻りと婦人の選擧運動が盛んでありましたが、その年の八月からは運動がパツタリ止まつて、それ等の人々が何れも國家の爲めに盡力するやうになつたので、時の政治家は大變考へさせられ、遂に婦人の選擧權を認めるやうになり、現に先日の海外電報によると、ロイドジヨージは戰後の仕事として男女同權實行の問題を宣言してゐます。

兎に角、戰後の歐米では政治上にも婦人の位置が確立されるものらしくあります。その結果として戰後歐米婦人界には大改革が行はれませうし、そしてその活動の範圍も擴張せられ能率も高くなり戰前には見ることの出來なかつた樣な進歩があるだらうと思はれます。飜つて惟ふに、さう云つた歐米の婦人達に伍して今日の無自覺な日本婦人が行ふ丈けの事が出來るでありませうか、心細い次第だと思ひます。

何うか世界戰後の婦人界の趨勢に鑑みて、日本婦人の奮起を望みたいと思ひます。

（七、一一、二〇、談）



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 女大學新評論（八）

『男女道德論』著者　一條忠衛

## 第十七章　批判

一　下部あまた召使とも、萬の事自ら辛勞を忍び勤ること、女の作法也。舅姑の爲に衣を縫ひ、食を調へ、夫に仕て衣を疊み席を掃き、子を育て汚を洗ひ、常に家の內に居て、猥に外へ出べからず。

此の章は第十二章と同じく女子の家政道德を規定した敎訓である。第十二章は專ら經濟道德に關した敎訓であつたが、此の第十七章は專ら其他の家事に屬する女道を規定したものである。先づ最初に『下部あまた召使とも萬の事自ら辛勞を忍び勤ること、女の作法也。』とあるが、是れは非常に善い敎訓である。妻が家事を下部に任せ切りにして、臺所も覗かず、子供の世話も爲さず、夫の身の廻りも知らずに居て、惟だ我が身だけ着物や化粧に浮身を俏して居るやうでは、良妻賢母と云ふことは出來ない。たとひ下部を多く召使ふ身分であつても、一家の家事と云ふものは悉く妻の個性的職分であるから、先づ自ら其の大綱を設け示して置いて、時間の許す限り下部と與に立ち働くと云ふやうで無ければならない。又この立ち働くことは非常に運動にもなつて腹も空き、血色も好くなり、乳も出て、その上家事が捗取り、家庭が整頓され、妻の人格が高くなり、實に一擧兩得の手柄と云ふべきである。妻が手足を動かすことを嫌ひ、勞働を厭ふ結果として、運動不足となり、胃腸が惡くなり、頭痛がして、年中服藥して寢たり起きたりして居ることに爲るので、軈ては夏は避暑に赴き冬は避寒に出掛けなければ、生命を保つことがむづかしく爲る。かやうに四時の氣候にも堪えず、朝夕の寒暖にも煩はされる病弱な母の腹から、生れた子は何うなるかと言ふに、隨つて病弱の宿命を授けられて居るので、社會の甚雨に浴し、天下の疾風を櫛り、世界の波浪を漕ぎ分ける雄健なる國民と爲ることは出來ない。だから妻の家內勞働は實に神聖にして、其身に取つては萬病を療す靈藥であり、一家に取つては福德の門であり、一國に取つては國民健康の源である。女大學が斯ういふ名敎を揭げて置いたことは、洵に感服の至りである。併し乍ら此の家內勤務の敎訓は家事の整理と身體の健康とに對して妻の人格を實現する爲めに必要なので、其の勞働が過激に失して亂雜に流れて學門修養の時間を奪ひ、健康を損じて大病人となるやうでは無效である。

女大學はこの家內勤務に對して更に如何なる細目を設けて居るかと言ふに、『舅姑の爲に衣を縫ひ、食を調



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

へ、夫に仕て衣を疊み席を掃き、子を育て汚を洗ひ、常に家の内に居て、猥に外へ出べからず。」と規定されて居る。それで朝は未明から夜は深更に至るまで、舅姑の事、臺所の事、夫の事、子供の事、其他一切の家人に對する事まで、嫁の勤勞の範圍に屬するので、仕事は山のやうに重り、後から〳〵と追ひ駈けられ、一すの隙も無いと謂ふは此の事である。朝は鷄と與に起きて、臺所に下り、漸く食事の用意が濟んだかと思ふと、そろ〳〵舅姑や夫が起きて來て、顔を洗ふ湯水を要求したり、それに茶を進じて朝の御機嫌を伺つたり、食事が濟んで漸く臺所の跡仕末にかゝると、今度は夫が外出だと有つて、それ洋服を出せ、それ靴下を出せ、ステッキがないぞ、帽子が無いぞと云つて呶鳴り付けられ、その上澤山の仕事を仰付られ、總て玄關に送り出せば今度は少さい子供が泣き出す、大きい方は學校へ行く、舅姑が仕事を二日分も言付ける。全く四方八方から扱き使はれて、髪を結ぶ隙も無く、新聞を見る時間も無く、身體は疲れて綿のやうに爲り、睡氣が差して精神は朦朧となるのみである。況して婦人修養書類などは幾ら世の中に出版されても、唯だ音にのみ聞くだけて買つて讀む隙もなく、また買つて讀まうとする心も無くなつて來る。幾ら有名な女學校を卒業して居ても、終に讀書の趣味は衰へて、只だおさんを相手に臺所で古々しい講談落語の本をひれくり廻はすか、若くは偶に姑から淨瑠璃の話を聞いて新知識の代用とする位なものである。それで夫が外から歸つて來ても、此の日進月歩の文明社會に生ずる面白い有益な話題を提供して彼の精神を慰めることも出來ず、又た知識盛りの子供に向つて新しい知識を植ゑ付けて遣ることすら不可能である。その上家にばかり居て外出は一切ならぬ掟であるから、世間に出て珍しい話を聞いて來ることも適はず、博覽會や展覽會へ行つて綺麗なものでも見て、命の洗濯をして歸ることすら容易でない。纔に井戸端に水汲に行つた折に、隣の嫁御と互に姑の惡口を交換するを以て無上の樂とするやうに爲る。

斯う云ふ有様であるから、我が國の家族制度に於ける嫁の地位と云ふものは、憐れなる姿であつて、檻の中に飼はれて居る娼妓と大差が無く、西洋諸國の開放された婦人達から見れば、全く奴隷の狀態と解するより外に判斷の下し様が無いてあらう。抑も一國の文明は智徳の進歩に基くのであるから、國民の智徳を啓發することは實に治國の要道であり、眞に經國の大業である。それには先づ國民を胎内に宿し、之れに血液を與へ、之れを哺育し、之れに感化を與へる國民の母たる者の智徳を啓發することが根本である妻は家事を執ると與に讀書修養に怠りなく、博く學問を究め、生涯を通じて切瑳琢磨することが肝要である。其れには第一に現在のやうな大家族制度は須く之れを解體して、一夫一婦の小家族制度と爲し、舅姑は舅姑自ら己れの用を便じ、夫は夫自ら自分の事を處理し、成るべく妻に迷惑を掛けぬやうに努め、一切の家事は出來るだけ之れを學術的方法によつて簡易輕便に整理すれば、妻の修養時間も出來て、外出して社會を見聞する時間も多く得られる譯である。西洋の婦人等は修養の時間を作る爲めに、家事を科學的に工夫して實益輕便を旨とし、無用の勞力を省くに劣力するに反して、我が國の婦人等は却つて之れを複雜ならしめむづかしいものに作り上げて、其の型の中に塡つて融通のきかぬ身分となり、毎日〳〵くだらぬ仕事を繰り返して、貴重の歳月を亡ぼし、健康を損じ、無學無藝を以て碌々として一生を終らなければならぬとは、眞に氣の毒と申すよりは、其の不甲斐なさを嘆ぜざるを得ない。而かも女大學はこれを激勵して處女の教訓とするのであるから、人は惑はし世を誤ること甚だしく、我が國の女子教育に取つては一大邪法である。殊に今日世に行はれて居る文部省檢定の女學校修身教科書なるものは、殆んど此の邪法を承けて教材を造り、之れを教へて國風と號し、之れを說いて婦道と稱し、之れを暗記させて質問を連發し、之れを青帳に

4—940

附けて操點と爲し、更に之れを藁半紙の上に試驗して人格の優劣を決すると云ふ仕掛になつて居るが、實に是れ女子の天眞を害し人格を破壞して、その生涯を不幸淪落に導く惡魔の所作であつて、天下無類の惡教育であり、謬れる修身教授法の見本と云ふべきである。

## 第十八章 批判

下女を使に心を用べし。言甲斐なき下﨟は習し惡くて、智慧なく、心奸敷物言こと祥なし。夫のこと舅姑姨のことなど、我心に合ぬ事あれば、猥りに讒り聞せて、夫を却て君の爲と思へり。婦人若し智無して、是を信じては、必ず恨出來易し。元來夫の家は皆他人なれば、恨背き恩愛を捨る事易し。構て下女の詞を信じて大切なる嫜姨の親を薄すべからず。若し下女勝れて多言くて惡敷者ならば、早く追出すべし。箇樣の者は必ず親類の中をも言妨げ家を亂す基と成者也。恐るべし。又卑者を使ふには、氣に合はざる事多し。夫を怒罵て止ざれば、約々しく腹立こと多くして、家内靜ならず、惡しき事あらば折々言教て、誤を直べし少の過は忍て怒べからず。心の内には憐て、外には行規を堅く訓て怠らぬ樣に使ふべし。與へ惠べき事ならば財を惜べからず。但し我氣に入りたるとて、用にも立たぬ者に猥に與ふべからず。

此の章は家内勤務の爲めに雇入れた女中を使ふ時の心得を規定した教訓であるけれども、一つ注意を要することは、此の教を立てたのは今を去る百五十年前で時代は封建時代であり、背景は階級制度であり、風俗は男尊女卑と云ふ狀態であつたからして、人間に上下の差別が設けられ、貴賤の掟が喧しく、個人の人格に關する尊敬の念が無かつた。そこで雇傭契約により使用と勞務の關係より、家内勤務の爲めに雇入れた女中と云ふ女子勞働者に對して、之れを下女と稱して下﨟の中に加へ、はしためとして賤しみ取扱つたのである。使用者の妻と勞務者の女中とは君臣主從の關係を結んて、一方は絕對の專制者となり、一方は盲從の奴隸となつて居る。衣服髮飾も一切賤しくせねばならぬし、食物も殘飯を與へられ、朝は五更より夜は深更まで働き通して、一年三百六十五日の間に總に盆正月に二日の藪入を貰ふだけで、後は僅の賃錢に甘んじて奉公して居なければならぬ有樣であつた。素より彼等は貧家の子であり、此の女中奉公より外に差し當り、生活の妙案が無い爲めに辛勞して居るのであるから、憐れなる境遇者である。これは十九世紀初葉迄の西洋諸國に於ても同じ現象であつた。然るに個人の覺醒は女子をして永く斯かる奴隸の生活に滿足させて置くことは出來なかつた。女子は人格の自覺に由つて、女子勞働問題を起し社會的に女子の職業を改良し、之れを天下に擴張するに至つた。此の思想は我が國にも入り、公私の役所會社を始として今日は到る所に於て、女子職業の門戶が開放された。これが爲めに、貧家の女子は潮のやうに此の方面に押し寄せ、女中奉公よりは程度の高い賃錢を得られる身分になり、衣服髮飾も女中奉公よりは風采の上つた娘になれて、食物も好きな物を買つて食ふことも出來、その上時間を以て勤務するのであるから家に歸れば

身は自由になつて、新聞なり本なり讀むことも出來、日曜には活動寫眞なり安芝居なり觀て娛樂を得られる境遇に成れたその結果として家內勤務に從事する女中奉公者は俄に拂底して幾ら諸方の桂庵に賴んでも埒があかず、止むを得ずして昨日まで奧樣然として水に手を入れた事も無かつた細君等は今日からは遽に狼狽して一切の家內勤務を一人で脊負つて片付けねばならぬ運命に遭遇した。然るに顧れば後に舅、姑、夫、子供、兄公女公、居候と云ふ大家族を控へて居るので、身は愈々賑しくなつて、讀書の時間などは昔よりも無くなり、將來は更に無くなつて細君一同の無能となり、劣等なる國民の母とならざるを得ない形勢である。然らば此の社會的疾患を救濟するには何うすれば可いかと言ふに、先づ一夫一婦に子供を加へた小家族を以て生活の原基と爲し、舅姑及び兄公女公とは別居することである。さうすれば家族員も少なくなるから、讀書修養の時間も自ら出て來る譯である。そして餘裕のある家庭では一人なり二人なりの女中を雇入れ、會社勤務に相當する報酬と時間とを與へて優待し、今日まで行はれて來た一切の風俗陋習を去り、髮は島田に結はうが、衣服は銘仙にしようが、菓子を買つて來て食べようが、活動寫眞に行かうが、女學校へ通はうが、其等は彼等の自由の範圍とすれば、此の家內勤務の方面にも澤山の女子勞働者が悅んで入り込んで來る譯である。是れは現に西洋の家庭に行はれて居るので、日本の女子でわざ〳〵渡航して女中奉行をし乍ら女子大學を卒業して歸る實例も尠くないので、日本でも今に斯ういふ社會に爲らざるを得ないのである。さうして斯ういふ場合に女中に對して怒を避け過を恕し、知らざるを敎へ惡しきを改めさせ、身の上を憐み親むといふ、此の女大學第十八章を大に勵行して貰ひたいのである。（つゞく）

## □□ 最近の廓清運動 □□

### □益富山本二理事歡迎晩餐會

益富政助山本邦之助二氏の評議員有志歡迎晩餐會を十月三十日午後五時より神田青年會館に開く。當日出席者左の如し。

益富政助、山本邦之助、島田三郎、安部磯雄、丸山鶴吉、小河滋次郎、松宮彌平、小松武治、油谷治郎七、伊藤富士雄、西村勘之助、高島米峰、湯淺治郎、角谷和市、林歌子、川崎正子、菅儀一、高岩義政、普賢寺徹吉、伊藤秀吉。

### □廓清會矯風會聯合大演說會

同日夜六時半、同青年會館に於て婦人矯風會と聯合にて演說會を開く、伊藤主事開會の辭を述べ、第一席菅儀一氏の歐米懇談ありて、第二席山本邦之助氏は『歐米視察時の風紀狀態』と題し、第三席林歌子氏は『飛田問題の顛末』と題し、第四席益富政助氏は『世界改造の時代』と題し、何れも熱辯を揮ひ、第五席島田會長の挨拶の後、第六席油谷治郎七氏最近の風紀問題に就き有益なる演說をなし、聽衆に多大の感動を與へ、十時過閉會、來會者無慮千名、入場料四十二圓即時入會者二十餘名を得た。

### □埼玉縣岩槻町の指定地問題

前號記載の埼玉縣岩槻町に於ける私娼指定地問題は、十月下旬同地町會議員と本部長との懇談會並に演說會開催の筈にて、島田會長油谷理事伊藤主事の三氏出張乘車せんとする際、運動の中心人物たる牧師茂村德太郎氏急行來着し、演說會場を暴漢の脅迫の爲め謝絶せられたるに付き見合すの外なき由を告げられ、中止する事となりたるが、同地業者が暴漢側に組するの疑ありて、輿論沸騰の警察に對して何等措置をなさゞるのみならず頻りに茂村氏其他の有志に脅迫を加へ、醜城の恢復に骨折りつゝあるは甚だ困つたものである。

### □秋田縣橫手町に支部起らん

秋田縣橫手町の特志家深田澤太郎氏は先般上京して本部を訪はれたるが、歸郡後熱心に支部設置の一大運動を試み、『廓清の栞』と題する小册子及び支部設置の趣意書を配布し、敎育家其他智識階級の贊助を得、英歐に於ける名譽同盟の如き運動を成功せしめんと奔走せられつゝある。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 社會政策の最要點

文學博士 三宅雄二郎

## (一)子供と大人、田尻さんと野田さん

米の問題、もう少し大くいへば食料の問題、更に大くいへば、生活問題、これがいつの時代でも八かましい問題だ。新嘗祭、神嘗祭といふ、神様のことはよく解らぬが、嘗めるといふことは、食料について重きを措かれてあるのだ。食料のことには古より大御心を勞せられ、又人民も苦勞をして來た。社會政策の問題は、名は新しいが、事實は古よりあつた。一般の人は唯だぼんやり語りつぎ來つたことが、今日では斯くあらねばならぬと誰でも注意するやうになつた。この社會政策問題は、政治問題と至大の關係がある。今の青年の名がとれる時分に、社會政策も物になるだらう。その時分には私共は死んで了ふ。今生きてゐる間に少しく言つて置くもよからう。

社會政策を研究するに、その考へ方がいろ〳〵ある。山にしても富士山のやうな單純な姿もあれば、妙義山のやうに複雜なのもある。社會政策の問題には、多くの方面がある。今は普通に餘り論ぜられない等閑になつてゐる點をあげてみる。人の實質は優等になるほど、その差異が少くなる。然るに其の利益の割が多くなる。これを如何にして結び付けるかと問題の最要點である。

實質の上で、優等なるものほど、差異の少くなるのは、人の上で何れの點からもよく見ることが能る。小兒が成長する大人になる迄の異ひが著しく分る。赤坊、十五六、廿五六その差がはつきり際立つて知れる。だが廿歳以上の差異が少い。成長發達の盛んな時代は差がひどいが、大人になると、五尺や六尺は、著しく違ない。大抵似てゐる。六尺あれば、大層大く見える。古から世界で最も丈の高いのは、最近の露西亞人で九尺三寸といつた人であらう。これは大いには違ひない。支那人で七尺九寸といふのがあつたが、これは觀世物として珍らしがられた。開闢以來最も大いのでも、三尺の小供の三倍、普通の人を五尺とせば、二倍に足らぬ。普通の人に比べて、一尺か二尺か高いと人が驚くのみならず、何に一つ出來ないでも、見物になる。支那人の大いのが見物人の前へ出て、只だ手をあげるだけて收入がある。二三尺多いので何もせずに暮らせる。

目方になると、丈けより違ひが多い。大い片輪と小さい片輪と比べると三倍ぐらゐの差はある。田尻東京市長は拾貫目



Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

野田遞相は三十貫目、痩せたと太つたとの比較には、可なり好い標本である。だが野田でも普通の人の倍しかない。野田も相撲になれば大關になれる。田尻はいかに努めても、褌かつぎにもなれぬ。目方の重いのは、手を覺えさへすれば、大關になれる、相撲の最も重いのは、梅ケ谷の四十貫目だといふが、少し懸け値がある。その他はもつと輕い。

## （二）力士、選手、天才、本因坊

力となると、人の丈けより、目方よりもつと違ふ。普通に十貫目揚げられぬものは少い。多數の相撲の中でも百貫目扛げるものは少い。相撲といへど普通の十倍ぐらゐ、普通は十貫よりも、もつと多く扛げる。世界に百貫目以上扛るものはあるとするも、二百貫目はどうであらう。いかに力強くとも普通人の二十倍には過ぎない。

　運動になると、一尺多いか少いかで勝敗が決する。僅に五寸の際どいところで、優等のとれぬことがある。優等といへど、劣敗者との違は一尺か何寸かの相違である。腦の作用、智力の程度となると、きちんと計量ができぬ。低能と天才とは、衡にかけられぬ。非常に差異があるやうだ。が、果して人々の思つてゐるほどか何うか、低能といへど、五官がある普通の人と天才との差は更に少い。最も腦の作用を明かに現はすものは、圍碁の類であるが、初段と四段五段とは一目、八段とは二三目、本因坊となると誰も敵にならぬが、それでも差は一二目である。この道理は社會組織の上に當てはまる最も傑出したるものと、その次の二三段とさう大した相違はない。然し最も傑出したものは、大した利益を得る。二三段より下のものよりも割合はづれた利益を占める。二三段のものは、もつと下のものよりも又割のよい利益を得る。

## （三）學校とチャンピオン

　現今の富豪といふものは優れてゐるが、如何ほど人に優れてゐるか、貧者に比べて何うか、今五十圓ぐらゐを中產階級といふか、これは怪しいものだ。米代に困らぬ程度、それを中產階級といふのであるか、月五十圓は隨分ある。日本にて最も收入の多い家は、五十萬圓だといふ。謂ゆる中產階級の五十圓の一萬位に當る。その人の能力は、一萬倍かといへば千倍も疑はしい。百倍も疑はしい。十倍もどうか知れぬ。先代の岩崎彌太郎氏は、餘ほど能力の優れた人、然しそれでも普通より十倍、百倍あるか、それと同等の能力の人は他にも隨分ある。今も生存する。どんな優れた人といつても、その周圍の人と大した差のあるものでない。低い處にゐるものはいつまでも低く、上るものはづん〱上る。相撲も然うである。然しその能力は何程の違ひかといへば僅かである。能力と身代と比例のとれるやうにするには、何うするか、一方は僅かな違で大なる差を生ずる。チャンピオンが勝利を得たとて、一尺の違ひである。運動會はチャンピオンを造るものか學生全體の身體を強くするにあるか、どちらであるかといふと、チャンピオンを輕んずれば、それが出なくなる。一人をえらくすれば學校の體育が疎かになる。
最も優れたものと、その次のものとの差が僅かである。極

めて僅かの違ひて、幾千倍、幾百倍の利益を得る。學校はチャンピオンを造るべきか、全體の體育を進むべきか、この社會を少數の利益のためにするか、多數の利益のためにするか。極少數の一等賞、二等賞を得るものと、多數の落伍者との能力の差は僅かなものである。

現今の社會組織は、不公平にてきてゐる。或る程度までは不公平も防ぎ切れないとしても、能力に比例して、利益を得られるやうにするがよい。相撲も八百長では駄目になる。富豪も自分の働きて、幾百萬圓の金を儲けることはよい。が、その子孫が、何も出來ず全く無能て會社の重役の椅子にかけて利益を取るとすると問題になる。能力に應じて、利益を得しむれば、皆愉快に働きて、事業の成績があがる。之に反すれば能率が減じてくるから社會全體の損となる。

4－944

## (四)社會動搖の原因如何

今日までは、慈善と强迫とによりて、社會問題が成立して來たが、今後は慈善と强迫で、これを解決することはとてもてきぬ。如何にすれば社會全體の生活を善くすることがてきるか。これまでの遣り方ては難かしい。恰も如何にして學校全體の體育を進めるか、チャンピオンを造ると同時に、全體の體育を疎かにならぬやう進めてゆくには何うすればよいか、富豪にも利益を得しめ乍ら、社會全體にも能力に應じて利益を得しめねばならぬ。

能力の優れたものが、幾分利益を多く取るとするも、僅か能力の差あるために、幾倍てなく、幾十倍、幾百倍、幾千倍を取るとなると調子が狂ふ。富豪當人のために使ふものが幾何、使用人は幾何、能力に應じて利益を得しめれば、皆奮發して働き甲斐があることになる。隨つて社會は自然に進歩發達する。能力が無くても、多くの利益を得られるとなると、どうしても不平不滿が生じて、それが危險なる思想や行動となつて現はれ、社會の平和を攪亂することになる。伯爵の子だから五百メートルてよい、富豪の子だから三百メートルてよいとなると、運動會は面白くなくなる、かういふ社會狀態が今の世界を動搖せしめてゐる。何處に動搖の原因があるか、その最要點に目を留めねばなるまい。（講演梗概、文責在記者）

▲蓄妾税を取る三重縣

道德的良心の麻痺した家と社會とは滅亡する。是位簡單明白な眞理は世にない。三重縣明年の縣費豫算參百萬圓、本年に比して六拾萬圓の增加は迚も苦痛に堪へずとの理由の下に、花柳界の税金增徴の外、新に蓄妾税を課すと。悖德不倫の結果を利して、縣經濟の維持を計る。吾等は地方の道德的良心が、今尚如何に委靡不振の狀態にあるかに驚かざるを得ず。斯る汚劣なる政策を掩ふ巧妙なる口實は、何時も禁遏税を課するなりと稱するにある。

▲藝妓の株式會社

花柳の街が、組織的に大仕掛けになつて居るに對して、之が必要に應ずる爲に、藝妓株式會社の起るのも必然の勢だといつて、之を是認せんとするが一般の傾向といつて可いが。何んといふ亂暴極まるとてあらう。これを吾等は毒を舐ぶらば皿までといふ組織的社會的頽廢であると思ふ。先年名古屋に藝妓株式會社が設立され、一宮町には、十年以前に既に設立されたりと聞くが、最近岐阜に於ても、貳拾萬圓の資本にて、此種の株式會社を組織すること

# 同情と藝術及宗教との關係

文學博士　姉崎正治

一

亞弗利加を發見したリビングストンの書いた紀行を讀んでみると、彼が熱病に罹つて、死ぬ思をした時に、野蠻人が懇切に介抱した狀を書いてある。之れを讀んで誰でも感心せぬものは無いが、特に痛く其心を動された一人は、彼の有名なる進化論者のダウインであつた。ダルウヰンの種の起原を著すに至つた動機は主として此の人の道德性の發露に注意し始めた所に根ざしてゐるといふ。そして他の哺乳動物にも人間と似たる同情のあることを見出し、愈〻人の社會的生活に同情の深からねばならぬとを考へた。ダルウヰンの進化論を以て、唯だ弱肉強食を說いたものとのみ思ふは偏見である。ダルウヰン氏は同情に深き人で、犬の顏や、鳥の鳴く音にも同情の濃かなる所から發露するもののあるを考へて、人の生存のために競爭し苦勞し努力する裡に、他の猛惡なる野獸と異ならねばならぬ所あるを、力強く說いてゐるを見逃してはならぬ。彼の說に對して此點に理解を缺いてゐる人が多い。

同情は思遣りで、人の天性である。孟子も惻隱の心は仁の端なりといつて、赤子の井に墜らんとするのを視て誰かこれを素知らぬ顏して看過するものがあらうかといふ例をあげて、人の同情の自發的にして、自然の本能の如く見ゆることを說いてゐる。勿論この單純なる本能的に見ゆる同情も、それが複雜なる人間社會の現象と結付いて顯はれる時に、決して單純なものでは無い。リビングストンの例について考へても、其處に社會的に餘儀なき義務として盡すといふ觀念も混じてゐるかも知れぬ。マホメット敎などでは、よし敵でありとも一夜來りて宿泊を求めた場合には、之が宿泊を許し、又病氣にて難める場合には之を介抱せねばならぬといふことが、宗敎的義務となつてゐる。日葵は太陽に向て運動する如く、植物も或る刺戟に感じる。星の光と植物と關係あるや否を考へる人さへある。植物にある瓦斯を吹かけと脈搏がハタと變つて、人が酒に醉つたやうな狀態になるがある。アミーバは何物にか觸れると、食物として食つてみる。このアミーバは日光にて變化する。人の五官の中、目と耳とは遠方より波動の刺戟をうけて感ずる。昆虫は目の作用を有つが、魚は音樂を感ずるや否は疑問であるが、中世紀には魚は記誦するといふ說があつた。外界の波動を感ずるは、人間生活の延長に關して大切なることとて、猿は四ッ這なるも、人は起つて見渡すゆゑ



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

外界の刺戟を充分に感ずることができる。これが同情の範圍の擴充される基礎であつて、自己と世界との交渉を緊密にし宇宙を入れる雄大なる感じも此處に發して居る。

## 二

外界と自分の感覺が密接になれば、なるほど精神生活が發達し、延長し、豐富になり、分化する。春の野山の長閑なる萬物の成育するを觀ると、自分の心持に共鳴が生じて、春のやうな柔かな氣分になる。それから又自分の心持によつて、外界を支配する。同じ陰欝の天候にしても、自分の心持にて變化がある。米國のクリスチャンサイエンス（天理教ともいふべき）の如きは、天候の惡いことをいはぬ。人は外界と共に動くか、又心の持ちやうによつて感覺を異にする。壁の色の調子とか、音樂などは、外界から得た心持ちを現はし、外界のことを藝術化したものである。色なり調子なりが、人の心持に大なる關係あることは、神經系統の病氣が、壁の色を塗りかへたによつて癒つたといふやうな例が少くない。そして同じ感覺をうけても、その感覺に附纒ふグルリ「フチ」が違ふ。いろ〳〵の想像や聯想が「フチ」となつて附纒ふにより て、これら種々の感覺が總合されて、直覺に訴へられて、同情が動く、人の言葉や運動の、その一々を感覺してゐるのみならば同情は起らぬ。之を總合して直覺する時に性格を捉へることができる。勝さんが西郷さんと池上で相會して、江戸開城の談判が成立した光景を察するに、双方が一々分折して相知り合つたものでなく、謂ゆる英雄の肝膽相照らす趣は全く直覺的である。英國の首相ロイドジョジ氏が、佛の將軍ホッシュ氏を總指揮官として推薦した場合を考へてみても、ロイドジョジ氏が此事ならば以て大事を托するに足るとの確信を得たのは研究思索の結果でなくして、全く直覺的に相知つたものと謂はねばならぬ。

## 三

小說中の人物についても、歷史上の人物についても、現在の人物についても、觀賞の態度から同情となり、感奮興起して之に倣はうとする。同情が發達して之に化して見たいといふ氣になる。善い方にも惡い方にも眞似するやうになる。人物崇拜、または英雄崇拜といふことは、人生の重なる事實である。

創世記の記事は、殊に何んともいへぬ深い感じを吾等に與へる。これを物理學などの見地から考へたならば、甚だ幼稚であるかも知れぬ。然しこれを詩として見ればこの上もない壯麗雄大なるものである。これぐらい詩的創造の雄大なるものは他に例を見ない。この天地創造の話を、單に吾等の想像に止めないで、更にひし〳〵と吾々の心に味つて見たい。吾等には感情と智力との混亂がある。何んとも名づけやうのない混沌たる狀態にあるを覺えることがある。此のうちから天地に光あれといふ心持に目醒めることがある。それが禪的の覺醒狀態を現はすこともある。釋迦成道の實驗を考へてみても、われ〳〵は心といふ小天地に創造の光景を實驗的に味はされる。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

我國に傳はれる山姥の話も、われらをして深く考へさせる處がある。謠曲の作者は之を理想化してゐるが、山の花なり雪なり、天地風雲の變化極りなき姿から、我が心をみれば、正邪一如、佛もあれば鬼もある。わが心の變化出沒と、天地の光景と同じい。色即是空、空即是色で、天地創造は雄大なる力の發現を歌つたもので、山姥の說は、靜かに天地の姿をながめ觀じたものである。

## 四

藝術は己れを忘れて、物の美に接し、恍惚としてその中に入りて、之に感應したところを、何か形に現はさうとするによりて成る。創作こゝに於てかある。何か子供が音樂を聽えて覺えると、他の事をする時、口ずさみ足踏みして心持ちを顯はす。日本にては創作が容易に出來るやうになつてゐる。筆をとりて閑をかき、或は明月やとか、何んとか歌ふ。日本人の生活には、一般に趣味が行きわたつてゐる。安上りのものが容易に出來る。隨て突きこんで徹底的にやれない弊もある。藝術を愚弄した、廓話などいふものの流行るは歎くべきことである。されど若い婦人が演劇を觀て來ると、芝居見たやうな風ができる。見たものを樂んで、今一度それを再現してみようとする。藝術的に風紀のことなども、善につけ惡しきにつけかうした藝術的概念を拔きにしては解決がつかぬ。ワグネル氏は創作から演奏に、演奏から劇作に、それから〳〵と進んでいつて壓迫に堪へぬといつてゐる。觀て悅んで、歎賞が進んで、活現しようとする。宗教の信念もかうして起る。

山姥の曲は一休の作だといふが、小說か宗教か分らぬとも云ひ得る。藝術は一々に一段落をつけられる。そこで滿足できる。學術は進んで止まぬ。何處までも進む。宗教にも段落がある。無限に接し、無窮に働くところに滿足がある。學生の信仰を調査してみると、何年何月何日何時に宗教上の確信を得たといふやうに明かなのがある。藝術家は一の作業が出來れば、死しても可いと思うて一旦滿足して更に他の方面に進む。宗教に現はれたる同情は、無窮を仰ぐ心である。無窮無限といふは、數量的でない。一言一行のうちに、無窮無限の發動がありとする。我佛を念ずれば、佛我を念ずと、善導大師のいへる心持、無窮無限を仰ぐと共に、自己を無窮無限に延長するのである。ダンテはこれを無限を仰きて、無限に進るといつた、中江藤樹は天地に對する孝行といひ、黒住教の宗忠は生き通しといふことをいひ、「天照らす神の心とわが心、一になれば生き通しなり」といふ歌を以て、宗教上の同情を言ひ現はした。

同情を如何にして發達せしむるかといふに、一は己を完うするに於てし、一は人格の達成に於てするにある。佛教は無我を主張し、我執を打消して、人の同情を進める。基督教は個性の確立を力說する所に、其の長所を認められる。十九世紀の思想は、自我を立つるにあつて、今回の戰爭も、この思想の擴大から起つた。されば自我の確立は、溫かき同情の基礎の上にあらねばならぬ。（梗概、文責在記者）



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 戰後婦人の覺醒

日本女子大學敎授　平野はま子

## 一、眼界家庭に局限さる

人のことではありませぬ。お互銘々が本當に深く考へ直して、大に目醒めねばならぬことは、世界大戰の與へた敎訓によつて、つく〴〵然う思はれます。一體我々日本婦人の癖として、自分の家庭だけのことに對しては、利害の感じも鋭敏で、隨て趣味も濃かなやうですが、家庭以外のことになると、殆んど全く注意の外に措くを以て、當然のことゝして居ます。物價が如何に騰貴しましても、己が家さへ生活に困難しなければ、世間は何うでも一向無關心に打過ぐることができる。婦人がかういふ風では、男子の側で、いくら心配する人があつても、充分の效果が現はれるものではあるまい。物價が騰貴すれば、一般に如何にして儉約の方法を實行するか、如何にして食物を改良するか、如何にして外國米を廣く食するやうにすべきかといふことを、上も下も皆一般に考へて、愈々これが善いとなれば、法律命令を待たずに、競うて實行することにならないでは不可いかと思はれる。かういふ點が西洋諸國に比べると、非常に後れてゐることが、近來極めて明瞭になつて來たやうに感ぜられる。

米國などでは、食物を制限するに、無肉日を定めれば、それが直に行渉つて實行される。子供初め一國の方針を理解して何の小言もいはぬ狀態は、平生から婦人が子供を公共的に訓練する結果かと思はれる。英國あたりでも、石炭を燒かぬとなれば、どんな富豪の家でも燒かぬ。戰時とはいへ、さう都合よく實行されるには、婦人の社會的觀念の素養に待つ所なくてはならぬ。日本では表面の約束は約束、裏面では造作もなく、これに反對した事柄が行はれ易い。

## 二、無頓着なる女の一例

國民の間の衞生についても、婦人の智識と注意と充分であると否とによりて、何のくらゐ實際の結果に、大なる相違を見るか知れぬ。西洋では肺病とか、花柳病とかいふやうな悪い傳染性の病氣は、年々減少して根絕の見込ありとまでいはれてゐるのに、我國ではなか〳〵然うゆかないで、却て蔓延し增加する傾向があると聞いてゐる。これは實に何事でございませう。今度のスペイン感冒などでも婦人の注意すると否とは、これを豫防するに少からぬ關係あるとかと思はれる。先日も赤羽の停車場で見たことですが、ある婦人が、その連れし子供の、吸殼をいじつてゐるのを、傍で平氣でみてゐるのです。私は驚き呆れて、さういふものを弄じらないのが善いお子さんですといつて注意しましたが、これは最も極端なる例ですけれども、その婦人のお方は、相當に敎育を受けたかと思はれる年頃の女であるに至つては、如何でありませう。衞生のことは、男子よりも、婦人の方に



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

最も責任が多くして、さうしてもし教育ある女にして、かういふ風であるとするならば、今の學校もかういふ點について、その責任を分たねばならぬと感ぜられます。

## 三、自發的氣力なき婦人

日本の婦人は、長い間の歴史的因襲の結果でありませうか、凡てが受身になつて、婦人自ら[illegible]してかゝるといふことが、殆んど無いといつても可いかと思はれる。戰爭に關しても、日本の婦人は、どれだけ自發的の注意と趣味とを以て、何を爲したかといはれると、實に恥かしいことです。合衆國の西部で、婦人の團體は、獨逸が捕虜を殘酷に取扱つてゐる狀況を取調べて、これに對して一方ならず憤慨し、男子の側は如何にもせよ、戰後の婦人としては、獨逸の製品を買はぬと決定したとか聞いてゐる。これは一例に過ぎないが、米國あたりの婦人は唯だ獨逸の非人道に對して愚痴をこぼしてゐるといふ意氣地ない狀態にあらずして、此に非人道なることが行はれるとすれば、之に對して必らず[illegible]何等かの方法を考へて、自らこれを實行する。日本の婦人には、かうした自發的に行動する力が、甚だ乏しいやうに思はれる。此の點についても大に目醒めねばならぬ。聯合軍慰問の事業に關しても、日本の婦人がもつと自發的に働かねばならぬことであつたと感ぜられる。富山縣の婦人の起した米騒動は、婦人の自發的運動として最も著しい例であるが、唯だ自發的でさへあれば善いとはいへまい。かういふ場合に自發的に行動するにも、法律や道德の上から非難されないやうな範圍に於て、充分活動の餘地あることゝ信じられる。自發的勢力は結構であるけれども、これを實際に善用することを誤らぬやうにしたい。

## 四、米國戰時婦人の活動

以上述べたやうな點に於て、日本婦人は是非目醒めねばならぬと考へられますが、如何に斯うあらねばならぬと覺醒しても、自分の實力が之に伴はねば成さうと思ふことができない。西洋の婦人と、日本の婦人とは、實際さう大した相違があらうかと、多少疑つて居ましたが、今度の戰爭に於て、いろ〲の實例を見せつけられるに及んで、如何なる者もどうしてもお茶をにごらせなくなつたと思はれる。

一昨年二月、米獨國交の愈々斷絶せんとする時、婦人參政運動家の一人キヤツトが、四十八州の支部に檄を傳へて、二月廿三日より廿五日迄、代表者を集て、大會を開いた。萬一米國が參戰する時には、婦人も大に國のために活動せねばならぬ、英國にしてもし最初より現今ほどに婦人の働きを善用して居らば、英國は戰爭の慘禍を減じて、其活動の上に何程利益したか知れぬ、米國はこの失敗を繰返へしてはならぬ、故に一旦參戰の場合には、所屬二百萬の婦人は必らず一致結束して立ちたいものである、といつて、一、愛國民を鼓舞すること、二、食物の儉約増加、三、赤十字の援助、これらのことを參戰と同時に、四十八洲支部に檄文を發してこれを充分に實行した。

かういふことを日本の婦人の間で言つても、その相談がとても纒りさうもない。よし相談がまとまつても實際に運ばぬ。何ぜ運ばぬかといふと、要するに實行の



Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

力が足りないといふことになる。

先頃も聞くところによれば、ロイドジヨジが一人のステベンソンといふ秘書を雇ひ入れられたさうだが、この婦人は牛津の勞働大學の出身で、ロ首相の令嬢と同窓とかで、或時ロ首相の宅へゆきし時令嬢と共に手紙を認める手傳をなしたるに、タイプライターも出來るし、重寶な人と思はれしため、小學校の教員から一躍して首相の秘書になつたのであるといふ。斯ういふやうに實力のある人ならばこそ、その好機會を逸せずに、立身の道も開かれたのである。故に人は教育をうけて實力を養成することが何より先づ肝要である。

## 五、體力と人格との關係

それから日本の女子の身體の弱小なことでありまず。これは最も考へればならぬことかと思はれる。此程も七八年間米國におりて歸つて來た人の談には日本の女子はまあ何うしてこんなに弱いのでせう。今更のやうに歎息してゐるのです。彼方では本來體格が好いのは、カレヂに入る前には、誰でも何か一の運動に長じて身體の訓練が、よく出來てゐるから、學業にも堪へることができるといひます。日本の婦人も只だ健康を保つといふのでなく、身體が立派に鍛へ上げられてゐなくては、今後の事業にはとても堪へられないと思ひます。

然しいくら身體が強健でも、智識があつても、人格が發達してゐなくては、また世に立つて良き地位を保つことはできませぬ。人格は宗教といへば狹くなるかも知れませんが、自己の理想を高めるには、目に見えぬ人以上のものに對する信念がなくてなりませぬ。その信念があれば、只管に女は小人だとか、罪人だとかいふ考は除かれて、女も男と同じく「人」であるといふ思想が自然と湧いて出る。女は詰らぬもの、女は只だ服從すべきものといつたやうな、卑窟な根性から女は一日も早く目醒めればならぬ。

先程米國大統領ウヰルソン氏が、上院に於て婦人參政權を與ふる必要を切論されたるに、戰局終熄後幾多解決せねばならぬ問題を目前に見る時に方りて、我黨は女子の同情明察及び珍瓏曇りなき道德的本能に待つこと多大なるべきを信ずるを以て、偏に女子をして我黨の謀議に直接參與し表決の權威を有せしめねばならぬ必要を感ずる意を發表されてゐる。

英國に於ても、最近に於て婦人參政權の問題が非常に發展したことは、誰しも知るところだが、婦人の人格、實力の程度が必然的にかういふ氣運を迎へたといはねばなりますまい。

斯る世界の趨勢を見せつけられて、われら日本の女は、何時もじつと舊態に安んじ甘んじて居られるでせうか。深く此に考へてみて、大に覺醒するところがあり、もつと新しい方針をとりて進まねばなるまいと思ひます。（梗概、文責記者）

---

### 婦人運動と青年の純潔

◆米國では陸軍總海軍總及心理、醫學の大家が會合し研究の結果、壯丁が軍隊生活をして居る間、純潔を守ることは出來る事であると決議した。尤も一九一一年度の調査によると米國軍人千名中花柳病者が九十一名であり、參戰五月當初の米國軍人は十四萬五千名であつたが、この軍人の二割五分は一生搭らず、一人前の働きが出來なくなるといへば、第一募集の軍人中三萬六千餘名が不具者となつたのである。

◆そして訓練し武裝させ船にのせて、佛國の塹壕に送る迄には一人に一萬圓かゝる計算なれば花柳病者の爲に招く損害は莫大なるものである

◆米國は此に於て、一大英斷を以て、軍隊所在地より五哩以外へ、如何はしい婦人を追放する嚴命を布いた。此の方針で、周到なる監督の下に、軍人の品行を保たすことに努力した結果は、患者の數を半減し、漸次三分の一に減じ、遂に壯丁の軍隊生活をなす間、その純潔を保證し得る所迄漕付けた。

◆日本には兵營があれば遊廓がなくてはならぬ樣に思つて居る、私娼はいかぬが、公娼なら近附いてもいゝなどゝ考へてゐる。青年は純潔を守り得ざるもの、又は守る必要ないものと考へせしめてゐる。そして益々病毒が蔓延せしめつゝある。（內ヶ崎作三郞）



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 警察制度の改善

水津千雲

明治四十四年頃であつたと思ふ、帝國議會に於てジユーリーシステムを日本にも採用しやうといふ論議が提出されたかのやうに思つて居る。其際に天下の學者といふ連中は盛にこれを論議して日本に採用すべきであるとかないとか、遂に問題にもならず其儘時の移るに從つて止んでしまつた。けれども米國かぶれの學者や模倣に富んだ法律家などは根氣よく金科玉條の如くにこの陪審制度を稱へて居つた、自分は其時この陪審制度といふものが果して日本の如き國狀に適して居るや否やは疑問の中に葬つて居た、其代りに司法制度の改善よりも警察制度の改正がやつて見たいと考へた、其れは先日新聞紙上にも現はれて居た通りの岡警視總監が發明したといふ警察權を自治機關に委任するといふのと同じで、自分は行政警察丈を自治體に委任すること、即ち衞生警察が現に區役所に於て委任施行されるやうに行政警察に屬するものは自治機關にやらしたい、さうなれば司法警察は第一に經費が入らなくなり又行政警察に從事した警官は皆擧げて司法警察に移してしまへば、如何に國民の生命財產の安固が期せられるか解らないと考へた。

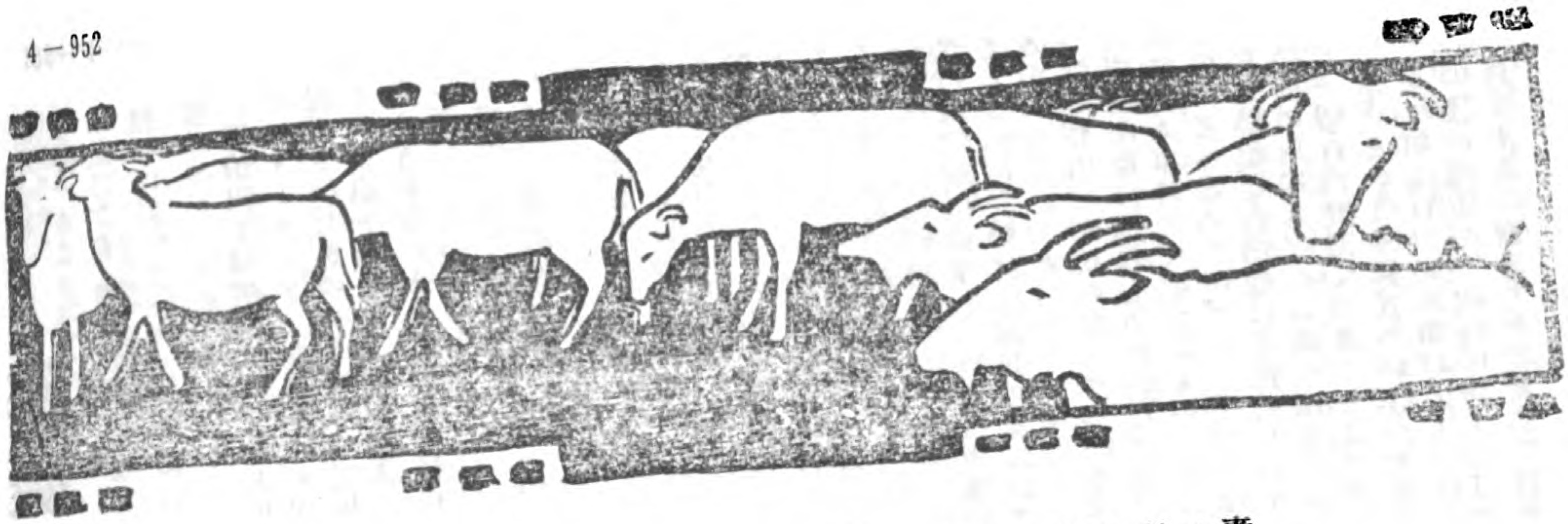
當時島田三郎氏の如きは警察費の縮少を稱へられて警視廳を府に屬せしめたいなど論ぜられて居たのと又當時殺人事件の頻繁なるものが日々に起つたことがあるので考へ始めたのであつた。現に行政警察に屬する衞生警察を自治體に委任せしめてあるからには、道路公園の取締だとか公衆の保安とか其他營業上の注意など一切自治機關でやることは、決して不可能でないと思ふ。それこそ國民のいふが如く人民との接觸も出來て來て頗る良効果を擧げるものと信じた故に、自分は時の警視總監を警視廳に訪うたけれど、總監不在の故を以て主事に面會した、所が警務長に屬する事故其人に面會せよといはれ、名は忘れたが確か片眼の部長さんに逢つた、逢つたけれども部長などでは立法的意見はない、唯命これ從ふ的の連中で、丸で話が解らない、ヤー警察權は大權發動で御座るとか、何とかコチラで百も承知して居る事を述べ立てられ、其揚句は議會の協贊を經べきだなど、色々理屈のやうな理屈にもならぬやうな解らぬやうな事でお分れになつたが、今回岡總監が工夫したといふのとは、動機は違ふにしても警察權の一部を自治體に委任するといふことを實行しやうとせられるのには、吾人は双手を擧げて贊成する。

又この事は日本警察の一進歩であつて斯かる獨創的見地から改善しやうといふ岡氏は見上げた腕前だと思はれる、少くとも行政警察權丈は自治體に委任したなら、警察費の低減が出來又司法警察の活動の上に如何に機敏を得るであらうといふことが想像せられる、第一自分をして忌憚なく言はしむれば、今の日本の警察は頗る威張り過ぎる、ために活動が鈍ぶつて來るのと國民を犯人（確定判決した）視して何うもならぬ、行政警察は半ば教育的でなくてはならぬ、巡査の養成も今少しく改善を加へて教育的訓練を加味しなくてはならぬ、何ぜといふと行政警察の司ると處は犯罪を豫防する所に價値がある、公園の樹木を伐採するものを捕へる前に其犯人を追掃つて罪を犯させぬやうに努めなくてはならぬ、よし捕縛をしたにしても一回二回は其不心得を懇々說諭し公德心の喚起を與へる必要がある、幸に警察權は裏に制裁があり又其制裁を加へる丈の權限があるために、學校教員が教場に於て一時間の公德心講話を試みたよりも、巡査の五分間位の說諭教戒に比すると頗る効果に相違があると常に自分は思つて居る、現に群衆の場所等に於て左側通行が自然に行はれて來た事は、教育家の力よりも警察權の力が多かつたやうに思はれた。無論警察の行政的行動は教育家と提携すべきもので又頗る密接の關係があるものである。行政警察が教育的に行はれなければならぬといふことは、穗積博士なども曾て稱へて居られたことがあるやうに思ふ。言を換へて言へば教育されたものを實行させるのは警察がやらなくてはならぬ所である。確かアリストテレスであつたと思ふ政治は教育的のものであると實に眞理だと思ふ。國民は生徒なり國家は教師なり、これは實に名言ではあるまいか。斯かる點から考へても行政警察を自治機關に委ねることは甚だよい方法で、自治體の役員は官吏ではないパブリツク、サーバントであるから、よく其世話が行き屆いて犯罪者を多く出さずに平和が維持される事と思ふ。

昔來年中行事の一として煤拂ひといふものを行つたが今日となつては實に衞生警察の力で、春秋二期の大掃除と變つたなどは實に良き方法である、暮の廿四五日頃思ひ／＼に掃除をなしても、掃除の濟んだ家には甚だ迷惑を感ずるのを、一齊に塵を拂つて清潔法を行ふなどは良習慣といはねばならぬ、この調子に警察權を以て強ふれば自ら習慣も造られ、社會の平和が保たれるといふ事になる。卑近な例だが東京市內四谷見附から市ケ谷見附の間の堤上に東京市で櫻の苗木を一間おき位に植えた、然るに其苗木は四五年經つた今日僅かに十數本を殘して然かも小枝の滿足のものは一本もない、誰れが此惡戲を試みるかといふと學生や小僧若しくは小僧上りの職人、小學校生徒である事を度々確めた、何れもこの惡戲であることは承知して居るものであるけれども其實行を強ふる人がない、公德心の重んずべきは學校教育に於て話されてあるに相違ないが、實行となると斯くの始末である。この直接の責任は警察官の責であらう、行政警察の司る所でなくてはならぬ。四谷牛込の兩警察は確かに手落ちである。この手落ちといふのは警察其者が教育的でないからだ、警官の養成をも過つた結果である、交番所に立番する間に充分取締る事は出來るのである。六ケ敷い理想論よりも斯様の人民に直接に利益幸福の起り來る問題の實行を期するやうに改善したい。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



# 現代青年の思想研究（一）

宮地生

今日の老年には青年が解つて居ない。中年にも青年が解つて居ない。それては青年に青年が解つて居るかといふと、これも甚だ怪しいものてある。

將來の國家社會を擔つて起つ青年が、何の方面から見ても、不理解の裡にあることぐらゐの不安なことはない。凡ゆる場合に於ける同情、協力、一致がこの不理解のために毀損され、凡ゆる場合に於て、誤解、衝突、排擠がこの不理解から生ずる。

青年を如何に指導すべきかといふことも、先づ今の青年は如何にあるかを理解してから其上のことである。青年を理解するには、直接青年に觸れるより外に道がない。吾等は最近都下各大學の青年の演說會に於て、彼等が披瀝したる意見の大要を撮錄して、彼等の思想の一斑を窺ひ、是に依りて現代青年の趨嚮を知る資料の一に充てたいと思ふ。

## ◇超國家思想　「明大一青年」

明大の一青年は、次のやうな說を陳べた時に、四五百名の青年は、別に反對の批評を加へないて、皆默つて傾聽した。

我輩は軍國主義の沒落を悲しむべきことゝ思はぬ。我輩は世界大帝國の滅亡を痛むべきことゝ考へぬ。正義の主張、眞實の熱求の、勝利を得たことに對して、何うして欣快の情を抑へることができよう。我輩は今度の大戰によりて、世界人類が偏狹なる國家的の因襲から解放され、この世界を白人の世界でもなく、又日本の世界でもなく、人類の世界だといふ自覺を明確に持たねばならぬことになつたを悅ぶ。世界改造の第一步は、此の自覺から始まるに違ひないかういふ時代に到着して、日本を單に日本のための日本だと考へるやうな思想は、過去の遺物として之を觀るより外はない。日本は世界の日本だ。世界のために日本は何を持ち來らすかは、日本存在の意義と價値とを決定するものである。

世界を一國の爲に私するのも、世界の爲に、一國を滅亡に陷らするも、吾等は兩ながら之を否定する。然し從來の偏狹なる國家主義、精神的鎖國主義が、如何に現代青年の思想と懸隔れたるものとなつてゐるかはこの一青年の言に徵して察するに足る。

## ◇飢ゑつゝある國民　「農大一青年」

農大の一青年は、次の如き說を吐いた。これに對しても、數多の青年は、大概同感のやうに見えた。

獨逸國民の敗戰の原因について、種々の說があるけれども、私は獨逸國民は、物質の力に富んでゐたけれども、精神の力、更に適切にいはゞ宗教信仰力の衰退してゐたことが、何よりも大なる原因であると思ふ。翻つて考ふるに、日本に於ける宗教の萎微不振、腐敗墮落の狀態は、國家の前途に、此上もない不安を感ぜしめるものである。殊に本所深川の如き處に居る多數下層社會の宗教に飢ゑつゝあるは驚くべきものであるに、之に對して今の宗教家は殆んど無關心てある、無頓着てある、否今の宗教家は下層の求道者に接近するをうるさしとして拒むものである。此の實例は云々なりと。

現代の青年は、決して宗教に冷談ならず。彼等は唯だ死せる宗教を顧みざるのみ。この青年の日本現代の宗教家に對する攻擊、聊か矯激に失する嫌あるに似たれども、さりとて全く事實の肯綮に中らずとはいへず。

## ◇國家觀念の徹底　「一高一青年」

一高の一青年が、起つて多勢の者に向つて、米騷動のことより、論旨を進めると、もうそんなことは廢せと混ぜ返し、デモクラシーの思想は、我國體と合致せぬと論ずれば、お前には分つて居ないと駁し、今や國民精神は一大危機に瀕してゐる。宜しく國家觀念の徹底と普及とを力めねばならぬといへば、古神道を擔ぐな古臭さいと冷嘲を浴せかける。然しなか〳〵容易に屈しない。鈴が鳴る、もお廢し〳〵といふ。されど經濟的戰爭に對し又デモクラシーの浸入に對しては、如何にしても、日支提携して當らねばならぬと繰返へし力說して降壇した。

現代の青年は尙古思想を謳歌せず。現狀維持の保守主義に滿足せず。彼等は飽までも新しき思想によりて新しき社會を產み出さうとして居る。

## ◇傳統的說法の無力　「佛大一青年」

ある佛教の大學の一青年が、「諸法無我」と題して、



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 米國の偉大なる一例

江原素六

私が初めて米國に旅行したのは、孛佛戰爭の年であつたが、米國から更に英國に渡らうとして、或る洋服店にて洋服の裁縫を賴んだ。すると其處の番頭は、「貴下は尙ほ長く米國に滯在なさるのてすか」と訊れた。私は「いゝえ近日の中に私は英國へ赴くつもりてす」と答へた。番頭は「それては貴下は倫敦て新調なさいました方が宜しいてす何ぜならば彼處ては凡ての物が殆んど當地の半額てすから」との事てある。

間もなく公使館を訪れた時、洋服新調の談をすると、當時の公使森有禮君や外山正一君なども、それは實際洋服店の言ふ通りてあるといつたことがある。

當時米國ては、南北戰爭の爲に來した經濟上の窮乏を癒すために、外國の輸入品には、五割乃至十割の高稅を課して、一方に於て歲入增加を圖り一方に於ては內地の製造工業の發達を保護したのてある。是時に當り、米國人にして、歐洲へ渡航する者が非常に多かつたのてあるが。之等多數の渡航者は、一人として英佛などにて衣服。時計などを購求して歸るものはなかつたといふ。若し然ういふことをするならば、自國の關稅を盜むと同じいといふ考からして、高價なのを甘んじて本國て買はぬものは無かつたといふことてある。これには眞に感服せざるを得なかつた。此に於て彼等の倫理道德の行爲は只だ對人又は對國の意義に止まらずして神に對する敬虔の念が、其の根抵となつてゐることを確に認めざるを得なかつた。

---

相當に流暢に說き初めた。

倶舍や唯識や、般若、華嚴などの所說を引用し、進んてカント、デカルト、ベルグソンあたりの說をも參照して說いた。全きり自分に解せぬことを云ふとは思へない。可なり消化されてゐるやうに聽取られた。然し「お說敎は止め給へ」、といふ冷罵が大層利いて、それに一たび氣勢が挫かれたなり、終りまて恢復てきなかつた。

古聖賢の說を引用して、現代の靑年を指導せんとするは無効なり。唯だ海外哲人の名と說とを引用するも甲斐なし。彼等を動するものは唯だ一あり、そは眞摯なる確信是のみ。

# 我榮よ醒よ

山根菊子

『我榮よ醒よ』、我等は斯く叫ばざるを得ないのてあります、現今の世界の大勢は日々に月に、時々刻々何等かの理想に向つて進みつゝあります、顧つて我國の精神界を顧みれば、歐米諸國に後るゝこと甚しく、殊に男女間に於ける道德問題社會上に於ける婦人の位置等は其甚しいものてあります。我等婦人は冷淡なる世の人人は措て、先づ婦人自ら奮起して社會の輿論を惹起せしむるやうに努力しなければならぬと思います。『男七年男女不ㇾ同ㇾ席不ㇾ共ㇾ食』の偏見は幾分か和せられましたが、世の識者たり有力者たる者のうちにも、公然と妾宅を持ち自動車中に美妓笑婦を同乘せしめて、塵中を疾走せしむる等、實に社會を紊亂せしむる大なる原因の一つてあります。先づ淺草公園の十二階より見下せば、吉原の樓閣江戶の名物の一として指ざされ、幾多の田舍出の男子の好奇心を惹起すか量り知られぬ程てないかと思ひます。私共はこの東京市中に吉原の存續するうちは、女子の權威は絕對にみとめ得られぬ事を信ずるのてあります。今や英國下院は昨年六月婦人參政權法案を可決し、更に去る十月二十二日に被選權法案をも大多數を以て通過し遂に婦人の有權者萬人に及ぶに至つたといひます。更に米國にても婦人參政を研邦法の上に認めんとし、其の他各國の婦人社會上地位男女平等の理想に近づきつゝあることを見聞致しますに、我國ては政談演說の傍聽さへ何時に廣れば數さるゝが甚だ不安てあります、此んな事ては到底我國の婦人の地位や男女平等などいふ所迄には容易に屆きそうにも思はれません。世界の大勢は潮の如く押よせて參るては御ざいませんか、デモクラシーの思想を以て進みましたが、未だ嘗て善く指導してゆかれば如何なる騷事を惹起さんとも量られぬ虞れがあります、米騷動の如き恐ろしきは人心てあります、露國及び獨逸の革命運動を見る時我等は他山の石を以て磨くの覺悟が此際必要かと存じます。此等の一大事變を彼岸の火事と見做す事無く、先づ婦人問題を先決し、殊に公娼制度を全廢し、私娼を嚴重に取締り、家族制度を改め、婦人に參政權を與へ、婦人の敎育機關を多く設けて便利に自由に勉學をなさしむるやうに計り、男も女も共に人としての修養をつましめ、以て理想の世界的國家を創られればならぬと思ひます。タビデが洞の中に還つて彼を殺さんとするサウルの手よりがれし時、ダビデは謳つて神を讃美いたしました『我榮よさめよ、箏よ琴よさめよ、われ黎明をよびさまさん』と我等も我等の榮ある事を思ひ、大のためは意義ある犧牲をはらひ我等の琴をもて彈じ、黎明に到る前に黎明のうたをうたひまして、失敗落膽せず婦人のため、我等個人のため、將た人類の進步發達のために、一層の奮起努力いたさればならぬと思ひます。

世の賢明なる諸婦人よ、如何にこの問題を見做さるゝや御意見を請ふ。



Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 編輯之後

◇山嶽　いつても平凡で詰らぬ感じを與ふるは、歳末年始の挨拶である。然し今年だけは大分異ふ心持がする。天にまで漲る大波瀾の間に漂はされてゐた一艘の船が、思はず或る山の巓に着いて、急に大洪水の引いた跡の茫々たる原野を見渡すやうな心持がする。

◇面喰　さあ是からだ。何處から降りて、何の方向をとりて、新に起るべき社會の地盤に斧を下すべきか。一度は必らず此時期が來るから、早く用意せよ準備せよと、人皆々病の如うに言つてゐたが、愈々其處になると、少々誰人もみな面喰つた樣子が見える。

◇思潮　急に周章狼狽の極、大手を擴げて、滔々と南の海洋に向つて奔流る流を、一方の山脈を超えて、北の海洋に落さうと焦心つてみたとて愚劣なとである。スペイン感冒さへ、思ふ樣に驅逐てきぬものを、全世界を掩ふ大思潮に反抗を試みたとき偉くも何も無い。

◇悲憤　我が國民性の破壞を試みて痛快がる樣な愚鈍な人は、今の世何處にも居ない。されど我が君民一家の觀念は、世界の大思潮の爲に洗ひ去られるかと懸念して　我等は此の爲に身命を賭して戰ふと意氣捲く悲憤慷慨家は、世の中に少く無い。

◇眞理　我等は世界の思潮だからとて、之に對して迷信的盲從を敢する程、お人好しには何うしてもなれぬ。然し同時に又世界の思潮が、眞理でありと理解しつゝそれが我國固有のもの其儘の姿と色調とをもたぬからとて、之れを呪咀するを以て愛國がるほど頑迷にもなれぬ。

◇自由　要諦に二側面あり、個々の人々、自己人格の尊貴なる理由を徹底的に自覺し、政治上にも經濟上にも、社會上にも、奴隷若くば奴隷に近き、境遇にあることの、啻に個人や國家社會の爲に不利有害なるのみならず、如斯は不自然不道德の極なるを知るが其一也。

◇有機　自覺せる人、開放されたる人、自由と眞理に有つ人、約していへば「人」らしき眞人が、更に個々に切り離すべからざる有機體の關係に於て、世界人類の幸福のために、統一あり調和あり、自由あり、情義ある活動から活動に生きるか其二也。

◇民本　デモクラシーの思想、亦上の要諦の範圍を出てない。我國體の精髓も亦この要諦に歸着する。眞理は古今内外の別なく一である。唯だ厚薄强弱明不明の程度を異にす。自を知らず、また他を知らず、己を立つる爲に、排他的偏見に陷る。戰亂の本此に在り。

◇危險　第一危險なるものは何か。地震でもない。雷鳴でもない。火事でもない。親爺でもない。貧乏か飢饑か戰爭かそれでもない。それでは何か。唯だ一ある。壓迫と屈從との間に生ずる不平の瓦斯である。これが僅にマッチ一本の吸殼一つほどの導火線に觸れる時に天地を破壞する爆發となる。

◇呪咀　この故に、我等の呪咀すべきは、個人主義でもなく、權利義務思想でもなく、自由平等の主義でもなく、人道平和の主義でも無い。爲政者民衆の間、資本と勞働との間、强者と弱者との間に階級を生ぜしめ、懸隔を生ぜしめる所の專制制度、奴隷制度、軍國組織是である。

◇敗因　日清戰爭の時、大山司令官が兵士と共に梅干を喜んで食したことが、時事新報に出て、これが獨逸の將校社會に傳へられた。彼等には何うしても日本將校心理が理解されぬ。獨逸では實際將校が驕つてゐて兵士を奴隷的に取扱ふのを當然と考へてゐるとは、佐藤少將の說、獨逸の敗因此に在る。

◇因果　獨逸にスヘルタカス團の如き猛烈たる團體の發生することは、毫も怪しむに足らぬ。强大なる壓制の下に、强大なる潜勢力を有するスヘルタカス團の如きものゝ成長するは、必然避くべからざる結果である。若し然る原因結果の現はれぬ國家は化的て死せる國家である。

◇敎養　人の愛らしき娘子女を、黒い互い手で攫へていつて、これを野獸的慾望の犧牲たらしめる爲に、奴隷の檻に繋ぐ。此の世からの地獄、人生こんな悲慘なことが何處にある。歷史的慣習と、社會的誘惑は、斯る悲慘なる出來事の前に、智者を盲目ならしめ、總者を冷酷不仁ならしむ。

◇飛田　飛田遊廓では、家宅の檢査の濟む家から、先ぐりに營業開始の認可を與へてゐるが、最早大小合して百四軒あるから、千人近くの女が要る。大阪で探し倦だ足を、東京や新潟に向けて、目下汗ヒショになつて、搜し出しつゝありと、この悪魔連中の横行を默認する社會を咀はずに居られぬ。

◇失職　兵隊が戰線から歸還する。まづ第一にパンの途に窮する。勞働の大部分は、婦人の手にある。歐洲で婦人の過剩二千萬に達し、其男女の間に、職業の爭奪が始まらざるを得ぬ。日本にても、會社工場の閉鎖と共に、婦人失職者の起るは必然、この間隙に乘じて遊廓の悪魔が跳梁を極める。

◇寄稿　新年號から編輯部も新活動を試み度いと思つて居ますが、會員諸君にも購讀諸君の雜誌であるから奮つて御寄稿を願ひたい。論文可なり散文可なり史傳可なり、苟も世道人心を裨益するの文字は、喜んで掲載致しますから、御惠投を願ひます。

◇會費　なるべく前金に督促を受けぬ樣御送附を乞ふ


大正七年十二月十日印刷　（毎月一回十日發行）
大正七年十二月十日發行　一部　定價金十錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生

印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　三光堂

發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局四〇三五番
振替東京二七〇七二番




Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必す雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

# THE NANKOIN HOSPITAL

**Chigasaki, Komagori, Sagami. (Near Oiso)**

**UNDER THE MANAGEMENT OF**

**Dr. K. TAKATA.**

**Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station**

**Healthiest Situation**

***FACING THE SAGAMI BAY***

**FINE SCENERY**

**Telephone : Chigasaki No. 2**

---

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

**院長**診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二番　**東洋內科醫院**

**院長**　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可
大正七年十二月十日印刷發行）

（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋、
警醒社、北隆館、瓦明堂、

一部定價金十錢

廓清 復刻版 全33冊

1980年6月30日 一揃定価30万円

発行者 北 村 正 光

発行所 株式会社 龍 溪 書 舎

〒101 東京都千代田区神田小川町3-28-7
電話 03(233)0441(代)・振替東京3-76123

印刷・製本 日本プリントセンター

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES

This book is due on the date indicated below, or at the expiration of a definite period after the date of borrowing, as provided by the library rules or by special arrangement with the Librarian in charge.

| DATE BORROWED | DATE DUE | DATE BORROWED | DATE DUE |
|---|---|---|---|
| | | | |

C28

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY